第 3 章　島嶼部における新たな交流を行う上での連携方策の検討

現状把握及び課題の整理結果を踏まえて、瀬戸内海での海上交通を活用した新たな交流連携を推進するための方策について検討する。

3-1　海上交通を活用した交流連携方策の検討

瀬戸内海における海上交通の利用者は、通勤や通学など、生活利用がその大半を占め、寄港地や寄港ダイヤといった海上交通のサービスも、そのような生活利用にマッチングしたものが提供されているものと考えられる。

今後、島嶼部において少子化・高齢化・過疎化等の進行が見込まれる中、新たなターゲットとなるのは島外からの来訪者であり、その「来訪者にとって利用しやすく、価値のあるサービスを提供」していく視点が重要であると考える。

以上を踏まえて、主にアクセス条件の面から抽出した課題に対応する方策を示す。

表- 12　海上交通を活用した交流連携方策

課題	方策の方向性
◇多くの人々が往来する交通の結節地に新たな交流の拠点を形成していく	⇒海上交通の利用者にとって、発着地・通過点であるみなとから、島内外の人々が訪れるみなとへとグレードアップする 例：船内・船上イベントの開催 帆船・客船・自衛艦の寄港　など
◇瀬戸内海の島々をめぐる海上クルーズの企画・普及を進めていく	⇒来訪者のニーズに沿った瀬戸内海の周遊情報の発信を推進する 例：日帰り・滞在クルーズコースの開発・検証 島々のイベントカレンダーの開発・検証　など
◇島外からの来訪者のアクセス環境に新たな価値を付加していく	⇒自家用車以外で来訪する人々に向けた、船内での情報発信や島内周遊手段の確保を推進する 例：地元漁師や元船乗りによる船上ガイドの育成 レンタカーやレンタサイクルの設置　など
◇島々を結ぶネットワークの一翼を担う基盤づくりを進めていく	⇒島外からの来訪者が来島するきっかけづくりとその受け皿づくりを推進する 例：海上交通利用と島内施設利用のセット料金設定 島めぐりクルーズ船の係留施設等の整備　など

3-2　交流・連携機能施設及びイベント等の活用方策の検討

瀬戸内海の島々における交流・連携機能施設や交流・連携イベントは、島外からの来訪者を集客するために発掘・発信されているものの、リピーターを獲得し得る企画力・集客力を発揮できているものはごく一部であり、また、人材の継承など、島内の活力を継続していくことも困難な状況になりつつあると考えられる。

今後、瀬戸内海の島嶼部における交流を促進していくためには、「不特定多数の来訪者を集客する取り組み」から「より具体的な来訪者が滞在する取り組み」へと、また、「単独の島による取り組み」から「多島による一体的な取り組み」へと、発展していく視点が重要であると考える。

以上を踏まえて、主に交流・連携機能施設及び交流・連携イベントの面から抽出した課題に対応する方策を示す。

課題	方策の方向性
◇瀬戸内海の島々を代表する交流の核としての役割を果たしていく	⇒周囲の島々を融合させるテーマ（キーワード）の創造・発信を推進する 例：『しまなみ海道』『みなとオアシス』等のキーワード 色調・音楽・キャラクター等の統一　など
◇瀬戸内海の島々を結び付ける取り組みを牽引していく	⇒瀬戸内海の島々が目指していく方向性を指し示す先駆的な調査・研究等を推進する 例：先進事例の調査や学識経験者等との共同研究 農家や漁家への民泊の促進　など
◇新たな魅力資源を掘り起こし、集客のポテンシャルを引き出していく	⇒我が島の魅力資源を掘り起こす地域力を創造する環境整備を推進する 例：旅客ターミナルを寄合所として開放 来訪者をもてなす活動への島民参加　など
◇集客力の高い周囲の島々と一体となって相乗効果を発揮していく	⇒周囲の島々の集客力や企画力と連携した島内の魅力資源のＰＲを推進する 例：集客力の高いイベントの同時開催 島民による島内ガイドの育成　など

3-3　具体的な方策の提案に向けて

海上交通を活用した瀬戸内海の島嶼部における新たな交流連携を推進する方策の具体化に向けて、社会実験や検討会を実施する。

社会実験については、先の現状分析において、発掘・発信されている施設・イベントが数多いグループ１に属し、橋或いは船によってアクセス可能な条件下でも海上交通が発達している『江田島』を舞台とし、最寄りの主要な都市である『広島市』からの来訪者によって、実際に海上交通を利用し、江田島島内を周遊した結果、満足した点、改善すべき点等に関する意見を収集するとともに、地元自治体や地元住民等からも、迎え入れる側の意見を収集する。なお、海上交通を活用した方策に反映していくために、海上交通の利用形態として考えられる自家用車・自転車・徒歩の３手段によって島内を周遊した意見を収集する。

検討会については、瀬戸内海を中心に普及している『みなとオアシス』の設置者や運営者から、現在の取り組みの状況や、今後の取り組みに向けた課題について、意見を収集するとともに、学識経験者、港湾管理者、海上交通事業者など、様々な立場からの意見を収集する。

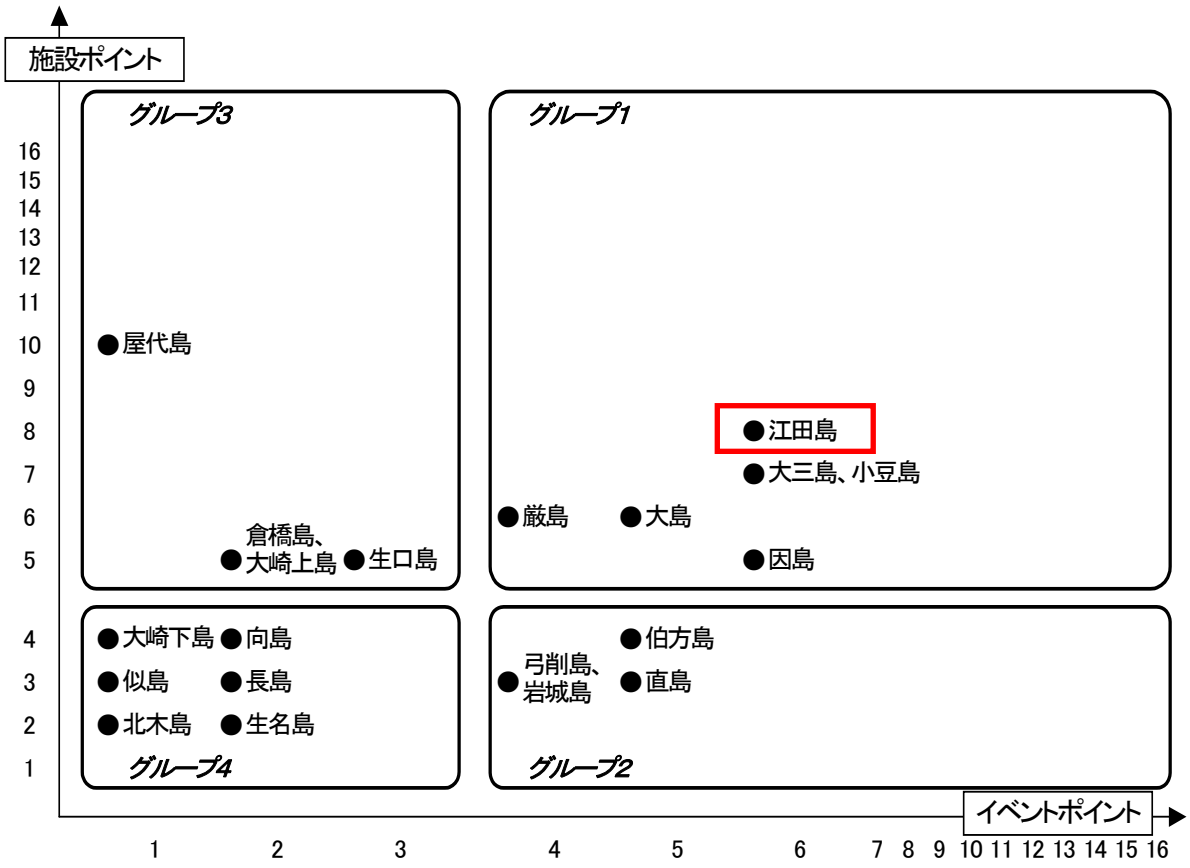


図- 23　江田島の位置づけ

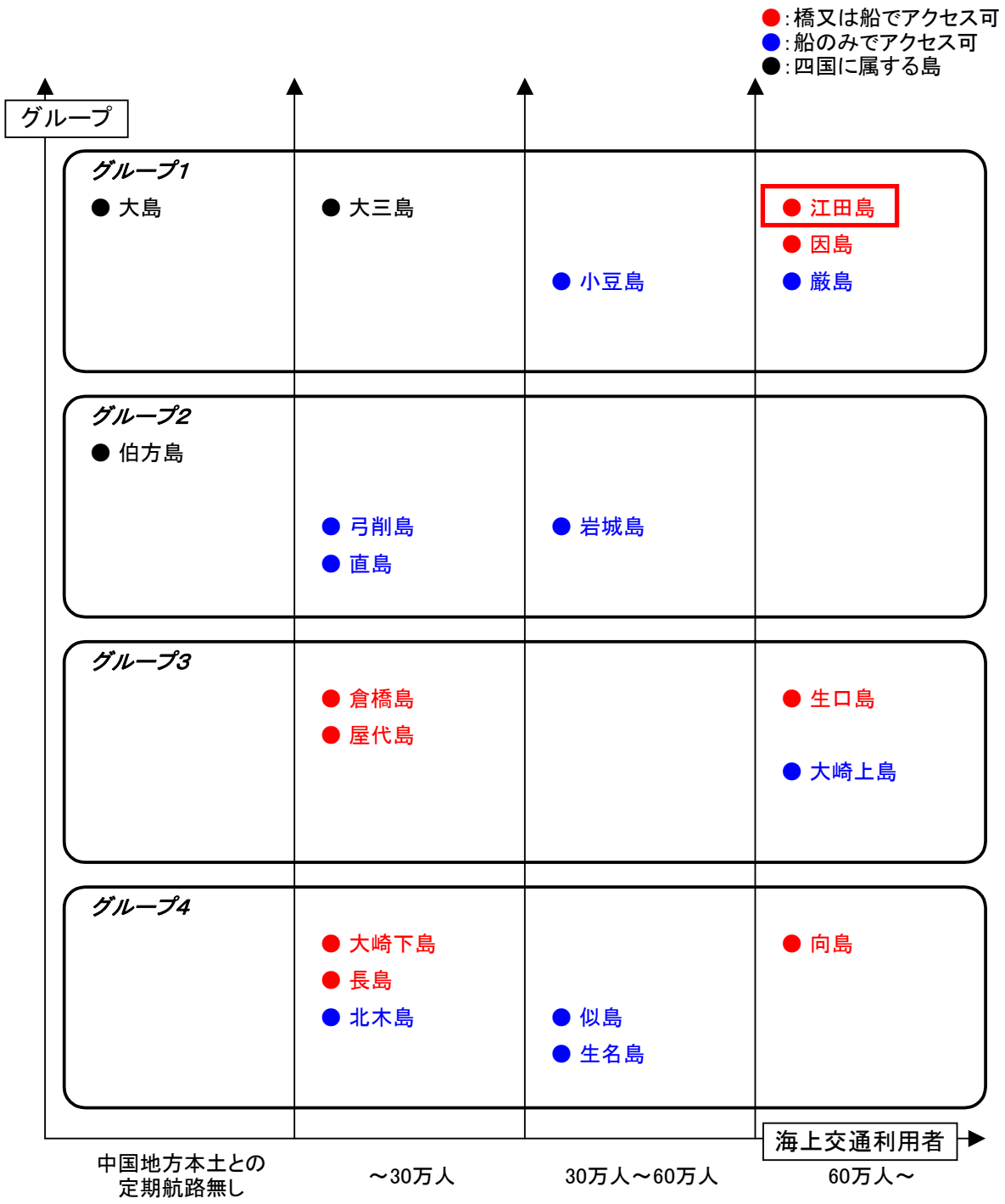


図- 24　江田島の位置づけ

第４章　社会実験等の実施

4-1　社会実験の概要

（１）社会実験の目的

瀬戸内海において島嶼部における交流連携を行う上で、島嶼部の地域経済に必要不可欠な海上交通を踏まえた現状及び課題を整理するとともに、海上交通を活用した新たな交流連携方策を検討するうえで、江田島を舞台に、フェリー・旅客船を利用した島嶼部交流を行う社会実験を実施するとともに、島嶼部交流についてのアンケート調査を実施した。

（２）社会実験の日時

平成22年2月21日（日）　8:00～18:00

※小用港「えたじまポートプラザ　食菜市場」の開催日（毎月1回）と同日とした。

（３）社会実験の手法

島嶼部交流を行う際に海上交通を利用する形態としては、①徒歩（公共交通）、②自転車、③自家用車の3タイプが想定されるため、利用形態ごとに10組（1組2名）、計30組（60名）を目標に、モニターによる島嶼部交流を実施した。

表- 13　参加モニターの組み合わせ

移動手段		モニター（目標）	対象世代
1	徒歩（公共交通）	10 組(1 組 2 名)	団塊・若者・ファミリー層を組み合わせるように配慮
2	自転車	10 組(1 組 2 名)	
3	自家用車	10 組(1 組 2 名)	
計		30 組（60 名）	

（４）モニターの募集方法

モニター対象者は､江田島市外で交流人口の潜在性が高い広島市の居住者から募集した。

なお、自家用車で移動するモニターについては、各自所有の自家用車での参加が可能な人とした。自転車で移動するモニターについては、レンタサイクル(20 台)を主催者側で準備した。

（５）社会実験の流れ

海上交通を利用する３つの移動形態（徒歩、自転車、自家用車）において、広島港から出発し、定期航路で江田島へ渡り、島嶼部内を周遊し広島港に到着する行程とした。

帰着後は、モニターに対してアンケート調査を実施するとともに、後日、江田島の関係機関に対してヒアリング調査を実施した。

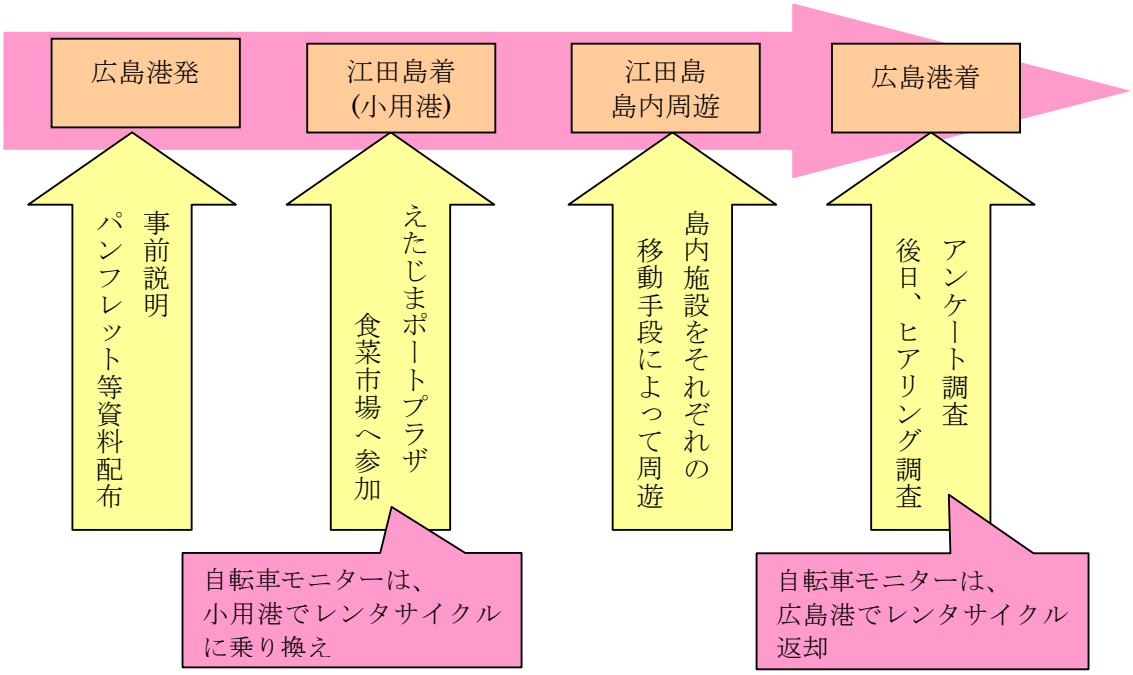


図- 25　社会実験の流れ

（６）社会実験モデルルート

今回の社会実験では、一般の来訪者が島嶼部を訪れることを想定し、既往の観光情報等をもとに自由に周遊する形態とした。

よって、広島港から海上交通（高速船・フェリー）を利用して江田島に渡り、小用港の「えたじまポートプラザ　食菜市場」に参加した後は、基本的にモニターの判断により、自由に島嶼部内を周遊することとした。

但し、江田島の地理等に不案内なモニターがいることを想定し、３つの移動形態ごとの特性を考慮したモデルルートを設定し提示した。

【 徒歩（公共交通）コース 】

島嶼部内の主な移動手段としてバスを利用し、帰りは海上交通（高速船又はフェリー）を利用することを想定し、移動ルートと経由地を以下のとおり設定した。

表- 14　徒歩（公共交通）コース（モデルルート）

経由地	移動手段	時刻		交通費等（円）	内容
		着	発		
広島港			9:24		事前説明・パンフレット等配布
	高速船			1,030 円	所用時間　約 25 分
小用港		9:48			えたじまポートプラザ 食菜市場 カキ打ち＆焼きカキ試食
			10:42		
	バス			150 円	所用時間　約 5 分
海上自衛隊 第 1 術科学校		10:47			施設見学 11:00～12:30(無料)
			12:51		
	バス			250 円	所用時間　約 15 分
江南橋		13:05			
	徒歩				所要時間 約 50 分
シーサイド温泉 のうみ		14:00			昼食・入浴・休憩 真道山ウォーキングコース(約 1 時間)
			16:15		
	徒歩				所要時間 約 2 分
能美海上ロッジ 桟橋		16:20			
			16:29		
	高速船			1,030 円	所用時間　約 30 分
広島港		16:57			アンケート調査
計				2,800 円	

図- 26　徒歩（公共交通）コース（モデルルート）

【 自転車コース 】

島嶼部内を自転車で移動するにあたっての地形や道路事情等を考慮し、帰りは海上交通（フェリー）を利用することを想定し、移動ルートと経由地を以下のとおり設定した。

表- 15　自転車コース（モデルルート）

経由地	移動手段	時刻		交通費等（円）	内容
		着	発		
広島港			9:24		事前説明・パンフレット等配布
	高速船			1,030 円	所用時間　約 25 分
小用港		9:48			えたじまポートプラザ 食菜市場 カキ打ち＆焼きカキ試食 ※レンタサイクルに乗り換え
			11:00		
	自転車				走行距離 約 10km（約 1 時間）
シーサイド温泉のうみ		12:00			昼食・入浴・休憩 真道山ウォーキングコース（約 1 時間）
			16:10		
	自転車				走行距離 約 1km（約 5 分）
中町港（*注）		16:15			
			16:33		
	フェリー			800 円	所用時間　約 50 分 旅客 620 円＋自転車 180 円
広島港		17:23			アンケート調査 ※レンタサイクル返却
計				1,830 円	

*注：帰りの乗船場所は、他の宇品港行きフェリー発着港（高田港・三高港）でも良い

図- 27　自転車コース（モデルルート）

【 自家用車コース 】

自家用車による移動の自由度をいかして島嶼部内を広く移動し、帰りは海上交通（フェリー）を利用することを想定し、移動ルートと経由地を以下のとおり設定した。

表- 16 自家用車コース（モデルルート）

経由地	移動手段	時刻		交通費等（円）	内容
		着	発		
広島港			9:00		事前説明・パンフレット等配布
	フェリー			2,950 円	所用時間　約 30 分 普通車(4～6m)＋旅客 450 円
切串港		9:30			
	自家用車				走行距離 約 6km(約 15 分)
小用港		9:50			えたじまポートプラザ 食菜市場 カキ打ち＆焼きカキ試食
			11:00		
	自家用車				走行距離 約 16km(約 30 分)
真道山		11:30			駐車場～展望台(徒歩約 10 分) 昼食(小用港で購入した食物等)
			12:30		
	自家用車				走行距離 約 4km(約 10 分)
シーサイド温泉のうみ		12:40			入浴・休憩（ここで昼食も可能）
			14:20		
	自家用車				走行距離 約 12km(約 20 分)
砲台山		14:40			駐車場～砲台跡(徒歩 約 20 分)
			15:40		
	自家用車				走行距離 約 7km(約 15 分)
三高港		16:10	16:30		
	フェリー			3,370 円	所用時間　約 30 分 普通車(5m 未満)＋旅客 620 円
広島港		17:05			アンケート調査
計				6,320 円	

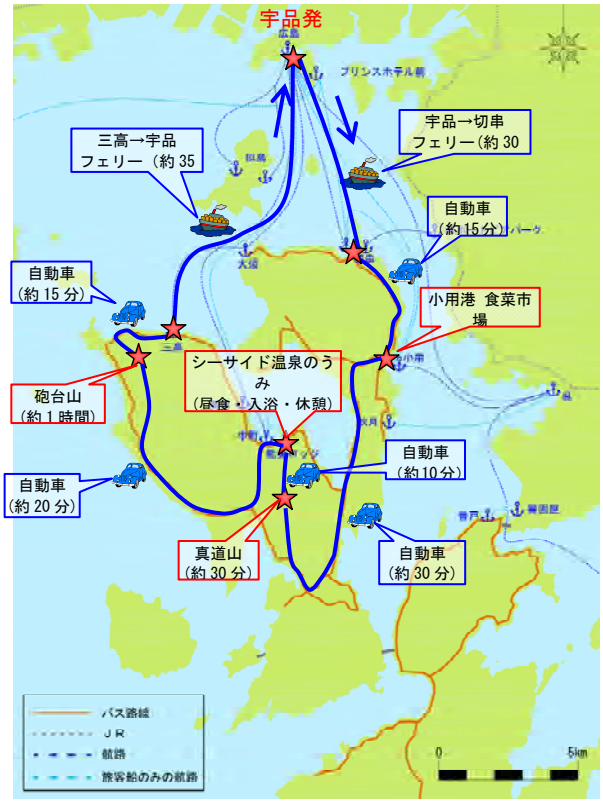


図- 28　自家用車コース（モデルルート）

（７）モニターへの資料配布

各モニターには、江田島の島内交流の参考資料として、海上交通情報（フェリー・高速船）、島内交通情報（バス）、島内施設情報、島内イベント情報を提供した。

◇海上交通情報（フェリー・高速船）

図- 29　江田島内　フェリー・高速船発着港　位置図

表- 17　フェリー時刻表（江田島⇔広島港）

広島（宇品）↔江田島（切串）
フェリー時刻表（平成20年8月20日改正）

宇品発		
7:00	11:20	17:05
7:15	12:00	17:30
7:45	13:00	18:00
8:00	13:30	18:25
8:15	14:00	18:50
8:45	14:25	19:20
9:00	14:50	20:00
9:20	15:20	20:45
10:00	15:45	※21:30
10:20	16:10	最終便※印は、日曜・祝祭日（振替休日）は運休
10:40	16:40	

上村汽船株式会社
(082)251-6020・江田島(0823)43-0452
株式会社ファーストビーチ
(082)254-1701・江田島(0823)43-0102

江田島（切串）↔広島（宇品）
フェリー時刻表（平成20年8月20日改正）

切串発		
6:20	10:40	16:25
6:40	11:00	16:50
7:10	11:20	17:20
7:30	12:00	17:45
7:45	12:40	18:10
8:15	13:30	18:40
8:30	14:10	19:30
8:50	14:40	20:10
9:20	15:05	※20:50
9:40	15:30	最終便※印は、日曜・祝祭日（振替休日）は運休
10:00	16:00	

運賃

大人	450円	9m未満	4,800円
小人	230円	12m未満	7,000円
3m未満	1,400円	自転車	180円
4m未満	1,800円	125cc未満	360円
6m未満	2,500円	125cc以上	550円

●時刻表　平成22年1月10日現在

宇品ゆき				三高ゆき		
三高	大須	宇品	便	宇品	大須	三高
6:10	6:25	6:49	1	6:55		7:31
6:48	7:03	7:27	2	7:38	8:03	8:18
7:36	7:51	8:15	3	8:25		9:01
8:23	8:38	9:02	4	9:07		9:43
9:05		9:40	5	9:45		10:21
10:25		11:00	6	11:05		11:41
11:35		12:10	7	12:15	12:40	12:55
12:40	12:55	13:19	8	14:00		14:36
14:20		14:55	9	15:00		15:36
15:40		16:15	10	16:20	16:45	17:00
16:30		17:05	11	17:10		17:46
17:05		17:40	12	17:45		18:21
17:50	18:05	18:29	13	18:35	19:00	19:15
18:25		19:00	14	19:05		19:41
19:20		19:55	15	20:00	20:25	20:40
20:21		20:56	16	21:00	21:25	21:40

※大須では車両の乗降はできません。

快速フェリー時刻表《中町～宇品航路》
〈広島行〉（平成20年10月1日改正）〈能美行〉

中町	高田	宇品	便	宇品	高田	中町
6:43	6:52	7:30	1	7:35	8:14	8:22
8:25	8:34	9:15	2	9:20	10:00	10:09
12:00	12:09	12:49	3	12:54	13:34	13:43
14:45	14:54	15:35	4	15:40	16:21	16:30
16:33	16:42	17:23	5	17:35	18:14	18:23
18:26	18:35	19:14	6	19:18	19:57	20:05

※中町港での車両乗降はできません。

表- 18　高速船時刻表（江田島⇔広島港）

▼広島（宇品）ゆき　▼江田島（切串・小用）ゆき

小用	プリンスるうら館	広島	便	広島	プリンスるうら館	切串(西沖)	小用
◎6:20		6:42	1	◎6:45			7:07
6:50		7:12	2	7:15			7:37
7:10		7:32	3	7:35			7:57
7:40		8:02	4	8:05			8:27
8:00		8:22	5	*9:24	9:29		9:48
8:32		8:54	6	*10:14			10:36
9:50		10:12	7	11:03			11:25
10:38		11:00	8	*12:20			12:41
11:28		11:50	9	13:14			13:36
*12:45	13:06	13:11	10	*14:23			14:45
13:40		14:03	11	15:12			15:33
*14:47		15:09	12	16:01			16:23
15:36		15:58	13	16:49			17:10
*16:25		16:46	14	17:40			18:02
*17:15		17:38	15	18:10			18:32
17:45		18:07	16	18:58			19:20
18:35		18:57	17	19:28			19:49
19:26		19:48	18	20:18			20:40
20:54		21:16	19	21:19		△21:32	21:47
21:53		22:15	20	22:25		22:38	22:53

◎斜字＝土・日・祝日運休　△斜字＝日・祝日のみ切串へ寄港
*便＝旧海軍兵学校見学の往復に最適な便です。（旧海軍兵学校の見学時間は表面をご参照ください。）

高速船時刻表《中町～宇品航路》

〈広島行〉（平成20年10月1日改正）〈能美行〉

海上ロッジ	中町	高田	宇品	便	宇品	高田	中町	海上ロッジ
	6:27	6:33	6:57	1	7:00	7:22	7:27	
	7:00	7:06	7:30	2	7:33	7:55	8:00	
	7:30	7:36	8:00	3	8:03	8:25	8:30	
	8:03	8:08	8:30	4	8:33	8:55	9:00	
	8:33	8:39	9:02	5	9:04	9:27	9:33	
	9:35	9:41	10:04	6	10:06	10:30	10:35	10:38
	10:40	10:46	11:09	7	11:11	11:34	11:40	
	11:42	11:48	12:11	8	12:13	12:36	12:42	
	13:08	13:14	13:37	9	13:39	14:02	14:08	
	14:10	14:16	14:39	10	14:41	15:04	15:10	
15:15	15:12	15:21	15:44	11	15:46	16:09	16:15	
16:29	16:26	16:35	16:57	12	17:00	17:22	17:27	
	17:00	17:05	17:27	13	17:30	17:52	17:57	
	17:30	17:35	17:57	14	18:00	18:22	18:27	
	18:00	18:05	18:27	15	18:30	18:52	18:57	
	19:00	19:05	19:27	16	19:30	19:52	19:57	
	19:30	19:35	19:57	17	20:00	20:22	20:27	
	20:30	20:35	20:57	18	21:00	21:22	21:27	
	21:30	21:35	21:57	19	22:00	22:20	22:25	
	◆22:27	(22:20)	22:49	20	◆22:52	23:12	23:17	

◆印は、日・祝日・振替休日は運休します。（22:20）高田→中町→宇品となります。
※海上波浪中は減速することがあり、到着が遅れることがあります。バス等を利用される方は、予め時刻表をご確認のうえご乗船ください。

表- 19 フェリー・高速船時刻表（江田島矢印呉港）

フ＝フェリー
高＝高速船

小用（江田島）～呉（呉中央）航路

所要時間／フェリー：約20分
高速船：約10分

便	小用（江田島）発				
1	高	△5:56	14	フ	*12:45
2	フ	6:27	15	高	13:35
3	高	△6:43	16	フ	*14:47
4	高	7:09	17	フ	15:35
5	フ	7:15	18	フ	*16:25
6	高	7:37	19	高	17:14
7	高	8:04	20	フ	17:45
8	フ	8:10	21	高	△18:08
9	高	8:33	22	フ	18:37
10	フ	9:00	23	高	19:25
11	フ	9:50	24	高	19:50
12	高	10:40	25	高	20:43
13	フ	*11:55	26	高	21:50

便	呉（呉中央）発				
1	高	△6:08	14	高	13:50
2	フ	6:47	15	フ	*14:22
3	高	△6:56	16	フ	15:12
4	高	7:23	17	フ	16:00
5	フ	7:40	18	フ	16:50
6	高	7:50	19	高	17:30
7	高	8:18	20	フ	18:10
8	フ	8:35	21	高	△18:24
9	高	8:46	22	フ	19:00
10	フ	*9:25	23	高	19:37
11	フ	*10:15	24	高	20:30
12	高	11:35	25	高	21:37
13	フ	*12:20	26	高	22:42

*便＝旧海軍兵学校見学の往復に最適な便です。

△斜字＝日・祝日運休

●タクシーのご用命は●

矢の浦タクシー／0823-42-0260
中央タクシー／0800-2002214(無料)
江田島タクシー／0823-42-1151
※小用港から旧海軍兵学校まで（料金目安 約710円）

ご旅行のご用命は、呉海運へ

呉湾おさんぽクルーズ

フェリーから見る呉の町並み、自衛艦や潜水艦、大和建造の造船所などを眺めながらのミニクルーズ。
●航路：呉港～小用港～呉港（所要約45分）
●料金：大人500円　小学生250円
●出航時間（計7便）
8:35、9:25、12:20、14:22、15:12、16:00、18:10

◇島内交通情報（バス）

表- 20　江田島バス　時刻表

大柿方面 ⟶ 小用

始発	大柿高校前	島一広島駅前	南大君	柿浦桟橋	ゆめタウン前 中町ターミナル	山田	小用
					5:56	6:05	6:15
					6:14	6:23	6:33
中町 6:10		6:24	6:29	6:34	6:42	6:51	7:01
					7:11	7:20	7:30
中町 7:00		●7:14	―	7:17	7:25	7:34	7:44
深江 7:53		●7:57	―	8:00	8:08	8:17	8:27
高田 8:00		●8:19	―	8:22	8:30	8:39	8:49
中町 9:10				中町から	9:20	9:29	9:39
		●9:11	―	9:14	9:22	9:31	9:41
三高・是長 9:10		9:49	9:54	9:59	10:07	10:16	10:26
中町 9:41		9:55	10:00	10:05	10:13	10:22	10:32
中町 10:17		10:31	10:36	10:41	10:49		
中町 10:43				中町から	10:53	11:02	11:12
深江 10:43		●10:47	―	10:50	10:58	11:07	11:17
		●11:15	―	11:18	11:26	11:35	11:45
中町 11:48				中町から	11:58	12:07	12:17
深江 12:48		12:52	12:57	13:02	13:10	13:19	13:29
中町 13:50		14:04	14:09	14:14	14:22		
中町 14:13				中町から	14:23	14:32	14:42
深江 14:35		14:39	14:44	14:49	14:57	15:06	15:16
中町 15:15		15:29	15:34	15:39	15:47		
中町 15:38				中町から	15:48	15:57	16:07
深江 15:35		15:39	15:44	15:49	15:57	16:06	16:16
深江 16:24		16:28	16:33	16:38	16:46	16:55	17:05
		●17:06	―	17:09	17:17	17:26	17:36
深江 17:18		17:22	17:27	17:32	17:40	17:49	17:59
					18:07	18:16	18:26
深江 17:50		17:54	17:59	18:04	18:12	18:21	18:31
中町 18:02		18:16	18:21	18:26	18:34		
深江 18:36		18:34	18:39	18:44	18:52	19:01	19:11
		●18:44	―	18:47	18:55	19:04	19:14
					20:14	20:23	20:33
		●21:16	―	21:19	21:27	21:36	21:46

小用 ⟶ 大柿方面

小用	山田	ゆめタウン前 中町ターミナル	柿浦桟橋	南大君	大柿高校前	島一広島駅前	行先
		6:14	6:22	6:27	6:32		中町 6:46
		7:20	7:28	7:33	7:38		中町 7:52
7:11	7:21	7:30	7:38	7:43	7:48		深江 7:52
7:43	7:53	8:02	8:10	―	●8:13		中町 8:27
8:05	8:15	8:24	8:32	8:37	8:42		中町 8:56
8:33	8:43	8:52	9:00	9:05	9:10		
9:01	9:11	9:20	9:28	9:33	9:38		中町 9:52
9:52	10:02	10:11	中町へ				中町 10:21
9:53	10:03	10:12	10:20	10:25	10:30		深江 10:34
9:58	10:08	10:17	中町へ				中町 10:27
10:42	10:52	11:01	11:09	―	●11:12		
10:47	10:57	11:06	中町へ				中町 11:16
		11:31	11:39	11:44	11:49		三高・三高 12:28
11:57	12:07	12:16	12:24	―	●12:27		深江 12:31
12:46	12:56	13:05	13:13	13:18	13:23		中町 13:37
13:41	13:51	14:00	14:08	―	●14:11		深江 14:15
14:05	14:15	14:24	14:32	14:37	14:42		中町 14:58
14:50	15:00	15:09	15:17	―	●15:20		深江 15:24
		15:49	15:57	16:02	16:07		中町 16:21
15:38	15:48	15:57	16:05	―	●16:08		深江 16:12
16:27	16:37	16:46	16:54	16:59	17:04		
		17:00	17:08	―	●17:11		深江 17:15
17:14	17:24	17:33	17:41	―	●17:44		深江 17:48
17:40	17:50	17:59					
17:45	17:55	18:04	18:12	―	●18:15		深江 18:19
18:09	18:19	18:28	18:36	―	●18:39		
18:40	18:50	18:59	19:07	―	●19:10		中町 19:24
津久茂から	19:18	19:27					
19:25	19:35	19:44	19:52	―	●19:55		中町 20:09
津久茂から	20:03	20:12					
20:00	20:10	20:19	20:27	―	●20:30		中町 20:44
20:44	20:54	21:03	21:11	―	●21:14		
21:52	22:02	22:11					

江田島バス標準時刻表（土・日・祝日用）平成21年4月1日改正

※記載されていないバス停の時刻は、各停留所に貼ってある時刻を確認してご乗車ください。

大柿方面 ⟶ 中町桟橋

始発	柿浦桟橋	南大君	島一広島駅前 大柿高校前	金防	是長口	中町桟橋	行先
南ホテル 6:14	6:22	6:27	6:32	6:36	6:41	6:46	
南ホテル 7:20	7:28	7:33	7:38	7:42	7:47	7:52	
			8:12	8:16	8:21	大王へ	是長・三高 8:51
小用 7:43	8:10	―	●8:13	8:17	8:22	8:27	
小用 8:05	8:32	8:37	8:42	8:46	8:51	8:56	
小用 9:01	9:28	9:33	9:38	9:42	9:47	9:52	
中央ホテル 11:31	11:39	11:44	11:49	11:53	11:58	大王へ	是長・三高 12:28
小用 12:46	13:13	13:18	13:23	13:27	13:32	13:37	
小用 14:05	14:32	14:37	14:42	14:46	14:51	14:56	
南ホテル 15:49	15:57	16:02	16:07	16:11	16:16	16:21	
			17:31	17:35	17:40	17:45	高田 17:50
小用 18:40	19:07	―	●19:10	19:14	19:19	19:24	
			19:22	19:26	19:31	19:36	
小用 19:25	19:52	―	●19:55	19:59	20:04	20:09	
小用 20:00	20:27	―	●20:30	20:34	20:39	20:44	

中町桟橋 ⟶ 大柿方面

中町桟橋	是長口	金防	島一広島駅前 大柿高校前	南大君	柿浦桟橋	行先
6:10	6:15	6:20	6:24	6:29	6:34	小用 7:01
7:00	7:05	7:10	●7:14	―	7:17	小用 7:44
7:48	7:53	7:58	8:02			
8:05	8:10	8:15	●8:19	―	8:22	小用 8:49
大王から	9:40	9:45	9:49	9:54	9:59	小用 10:26
9:41	9:46	9:51	9:55	10:00	10:05	小用 10:32
10:17	10:22	10:27	10:31	10:36	10:41	中央ホテル 10:49
13:50	13:55	14:00	14:04	14:09	14:14	中央ホテル 14:22
15:15	15:20	15:25	15:29	15:34	15:39	中央ホテル 15:47
16:50	16:55	17:00	17:04			
18:02	18:07	18:12	18:16	18:21	18:26	中央ホテル 18:34
19:05	19:10	19:15	19:19			

中町桟橋・是長 ⟶ 三高桟橋

始発	中町桟橋	是長口	大王	林山	美能	三高桟橋
	6:05	6:10	6:15	6:23	6:33	6:40
	6:52	6:57	7:02	7:10	7:20	7:27
大柿高校前 8:12	大柿から	8:21	8:26	8:34	8:44	8:51
触れランド(大王) 11:31	大柿から	11:58	12:03	12:11	12:21	12:28
	15:16	15:23	15:28	15:36	15:46	15:53
	16:23	16:28	16:33	16:41	16:51	16:58
高田 18:00	18:05	18:10	18:15	18:23	18:33	18:40

三高桟橋 ⟶ 是長・中町桟橋

三高桟橋	美能	林山	大王	是長口	中町桟橋	行先
7:15	7:22	7:32	7:40	7:45	7:50	高田 7:55
9:10	9:17	9:27	9:35	9:40	大柿へ	大柿・小用 10:26
13:00	13:07	13:17	13:25	13:30	13:35	
16:05	16:12	16:22	16:30	16:35	16:40	
17:10	17:17	17:27	17:35	17:40	17:45	
19:45	19:52	20:02	20:10	20:15	20:20	

中町桟橋 ⇆ 中町桟橋

始発	中町ターミナル ゆめタウン前	中町桟橋
小用	10:11	10:21
小用	10:17	10:27
小用	11:06	11:16
秋月桟橋	11:18	11:28
	14:52	15:02
	18:46	18:56

中町桟橋	ゆめタウン前 中町ターミナル	行先
6:58	7:08	
9:10	9:20	小用
10:43	10:53	小用
11:08	11:18	
11:48	11:58	小用
14:13	14:23	小用
15:38	15:48	小用

中町桟橋 ⇆ 三高桟橋

始発	白町桟橋	高田桟橋	三高桟橋
三高・是長 7:15	7:50	7:55	
大柿高校前 17:31	17:45	17:50	
	19:18	19:23	19:31

三高桟橋	高田桟橋	中町桟橋	行先
7:35	7:43	7:48	大柿高校前 8:02
	8:00	8:05	小用 8:49
	18:00	18:05	是長・三高 18:40
18:52	19:00	19:05	大柿高校前 19:19

津久茂 ⇆ 小用

津久茂 → 小用	
7:10	7:28
8:08 大柿	8:27
9:22	9:40
10:13	10:31
11:55	12:13
13:10	13:28
15:08	15:26
16:47	17:05
18:07	18:25
19:00	触れランド入
19:45	触れランド入

小用 → 津久茂	
6:50	7:08
7:48	8:06
8:34	8:52
9:53	10:11
11:35	11:53
12:46	13:04
14:48	15:06
16:27	16:45
17:45	18:03
18:40	18:58
19:25	19:43

秋月桟橋 ⇆ 小用

秋月桟橋 → 小用	
7:44	7:56
11:10 小用から 7:25	触れランド経由
13:18	13:30
16:50	17:02
18:57	19:09

小用 → 秋月桟橋	
触れランドから 7:25	7:42
10:41	10:53
12:46	12:58
16:28	16:40
18:40	18:52

大須公園前・切串西沖桟橋 ⇆ 小用

大須公園前 → 切串西沖桟橋 車	切串西沖桟橋 車 → 小用	小用 → 大須公園前
7:26	7:38	7:53
	9:25	9:40
14:05	14:17	14:32

小用 → 大須公園前	
触れランドから 6:33	6:48	7:00
9:01	9:16	
13:35	13:50	14:02

※新設の切串西沖桟橋～大須間の停留所は、（タカノス・エセギ・幸ノ浦・大須桟橋・大須公園前）となっております。

※高速船・フェリーをご利用の方は、時刻を確認してご乗車ください。

〒737-2301 江田島市能美町中町4553-1
江田島バス株式会社
TEL (0823) 45－5363

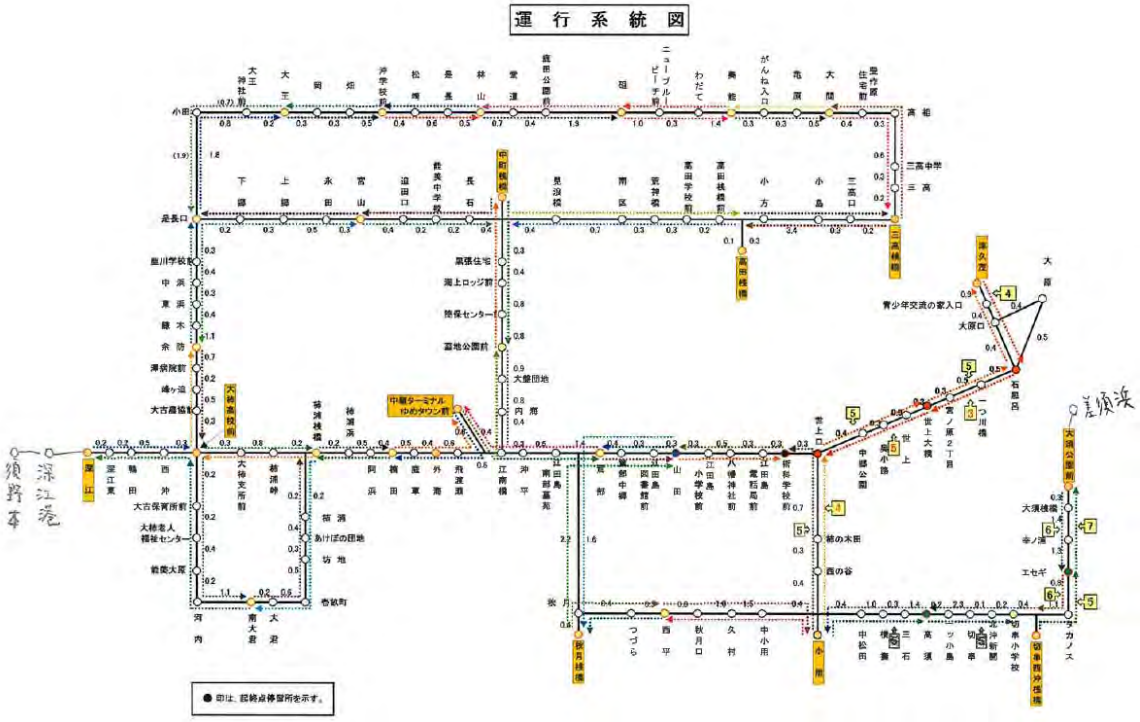


図- 30　江田島バス　路線図

表- 21　江田島バス　運賃表

江田島バス　運賃表

平成21年 4月18日
10円単位

中町桟橋 — 大柿高校 — トンネル — 秋月桟橋

	小用 西の谷	中町桟橋	長石	迫田口	宮山	上郷 下郷	是長口	鎌木	余防	峰ヶ迫	西沖	柿浦桟橋 柿浦浜	横田	飛渡瀬	ゆめタウン	江南橋	沖平	江田島南墓苑	秋月	秋月桟橋
小用 西の谷		14	14	14	14	15	20	24	27	29	34	38	42	44	44	45	47	53	55	
世上口	14	14	14	14	14	14	19	22	25	28	32	36	41	43	43	44	45	52	53	
電話局前 八幡神社	15	14	14	14	14	14	17	21	24	27	31	35	40	42	42	43	44	51	52	
山田	17	14	14	14	14	14	16	20	23	25	30	33	39	41	41	41	43	50	51	
警部中郷 ワシベ	21	16	14	14	14	14	14	17	20	23	27	31	36	38	38	39	41	47	48	
江田島南墓苑	25	21	18	15	14	14	14	15	18	21	25	29	34	36	36	37	39	46	47	
沖平	27	22	19	17	14	14	14	14	16	21	24	29	31	31	32	34	41	43		
江南橋	28	23	20	18	14	14	14	14	14	17	21	26	28	28	29	30	38	39		
ゆめタウン	29	25	22	19	16	14	14	14	14	14	18	23	25	25	26	27	35	36		
江南橋	29	25	22	19	16	14	14	14	14	14	14	15	20	22	22	23	25	32	33	
内海	29	25	22	19	16	14	14	14	14	14	14	16	18	18	19	20	28	29		
大畠 団地	32	27	24	22	18	14	14	14	14	14	14	14	14	14	15	17	24	25		
墓地 公園	35	30	27	25	21	17	15	15	15	14	14	14	14	14	14	14	19	20		
能保センター	38	33	30	27	24	19	18	18	18	17	15	14	14	14	14	14	18	20		
海上ロッジ	41	36	33	30	27	22	21	21	21	19	18	15	14	14	14	17	18			
黒張住宅	42	37	34	31	28	23	22	22	22	21	19	17	14	14	14	16	17			
中町桟橋	43	38	35	32	29	24	23	23	23	22	20	18	15	14	14	14	16			
秋月	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14				
秋月桟橋																				

小用 — ゆめタウン — ロッジ — 中町桟橋

	秋月桟橋	秋月	江田島南墓苑	沖平	江南橋	ゆめタウン	内海	大畠 団地	墓地 公園	能保センター	海上ロッジ	黒張住宅	中町桟橋
秋月桟橋		14	18	17	18	20	20	22	25	28	31	32	33
秋月	14		14	16	17	18	20	21	24	27	29	31	32
江田島南墓苑	18	14		14	14	14	14	14	17	19	22	23	24
沖平	17	16	14		14	14	14	14	15	15	18	22	23
江南橋	18	17	14	14		14	14	14	14	14	18	23	23
ゆめタウン	20	18	14	14	14		14	14	14	14	14	22	23
江南橋	20	18	14	14	14	14		14	14	14	14	20	20
内海	20	18	14	14	14	14	14		14	14	14	18	18
大畠 団地	22	21	14	14	14	14	14	14		14	14	15	15
墓地 公園	25	24	17	15	15	15	14	14	14		14	14	14
能保センター	28	27	19	18	18	18	17	15	14	14		14	14
海上ロッジ	31	29	22	21	21	21	19	18	15	14	14		14
黒張住宅	32	31	23	22	22	22	21	19	17	14	14	14	
中町桟橋	33	32	24	23	23	23	22	20	18	15	14	14	14

秋月桟橋 — トンネル — ゆめタウン — ロッジ — 中町桟橋

江田島バス　運賃表

平成　20年　5月　15日　改定
10円単位

三高桟橋 — 是長 — 中町桟橋 — 高田桟橋

	南区	長石	迫田口	宮山	上郷 下郷	是長口	小田	大三	沖学校	林山	鹿田公園	祖	わだて	美能	亀原	大間	高祖	三高桟橋
66	62	60	59	57	53	49	43	40	34	31	31	21	20	17	15	14	14	14
63	60	58	56	54	50	46	40	37	31	28	28	18	17	14	14	14	14	南区
60	57	55	53	52	47	43	37	33	28	25	25	15	14	14	14	14	中町桟橋	
59	56	54	52	50	46	42	36	32	27	23	23	14	14	14	14	長石		
58	55	52	51	49	45	41	34	31	26	22	22	14	14	14	迫田口			
56	53	51	49	48	43	39	33	29	24	20	20	14	14	宮山				
54	51	49	47	45	41	37	30	27	22	18	18	14	上郷 下郷					
53	49	47	46	44	40	35	29	25	20	16	16	是長口						
53	49	47	46	44	40	35	29	25	20	16	小田							
44	41	39	37	35	30	26	19	16	14	大三								
41	37	35	33	31	26	22	16	14	沖学校									
36	32	30	28	26	21	17	14	林山										
32	28	26	24	22	18	14	鹿田公園											
26	22	20	18	16	14	祖												
21	18	15	14	14	わだて													
17	14	14	14	美能														
15	14	14	亀原															
14	14	大間																
14	高祖																	
三高桟橋																		
三高桟橋	14	14	15	17	21	26	32	36	41	44	53	53	57	60	63	66	69	

三高桟橋 — 是長 — 大柿高校 — 柿浦・大君

	柿浦大君	大王	峰ヶ迫	余防	鎌木	是長口	下郷 上郷	宮山	迫田口	長石	南区	小方	小島	三高桟橋
柿浦大君		14	14	17	21	25	27	31	34	37	40	43	46	48	52	27
大王	14		14	14	16	21	23	25	28	32	35	40	42	45	47	51
峰ヶ迫	14	14		14	14	18	20	23	26	29	32	33	38	42	45	47
余防	17	14	14		14	15	17	20	23	27	29	32	33	35	40	43
鎌木	21	16	14	14		14	14	16	21	24	27	31	34	37	39	43
是長口	25	21	18	15	14		14	14	14	14	17	18	23	27	29	32	37	14
下郷 上郷	27	23	20	17	14	14		14	14	14	14	17	21	26	29	32	35	40	14
宮山	31	25	23	20	16	14	14		14	14	14	15	19	22	26	28	32	33	38	42	45	47	51	26
迫田口	34	28	26	23	21	17	14	14		14	14	14	14	19	22	25	28	32	37	41	44	46	48	52	27
長石	37	32	29	27	24	22	19	14	14		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
南区	40	35	32	29	27	25	23	20	17	14		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
小方	43	38	33	32	29	28	26	23	20	17	14		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
小島	46	42	38	33	32	29	28	26	22	19	14	14		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
三高桟橋	48	45	42	38	33	32	29	28	24	21	14	14	14		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14

平成　20年　5月　15日　改定
10円単位

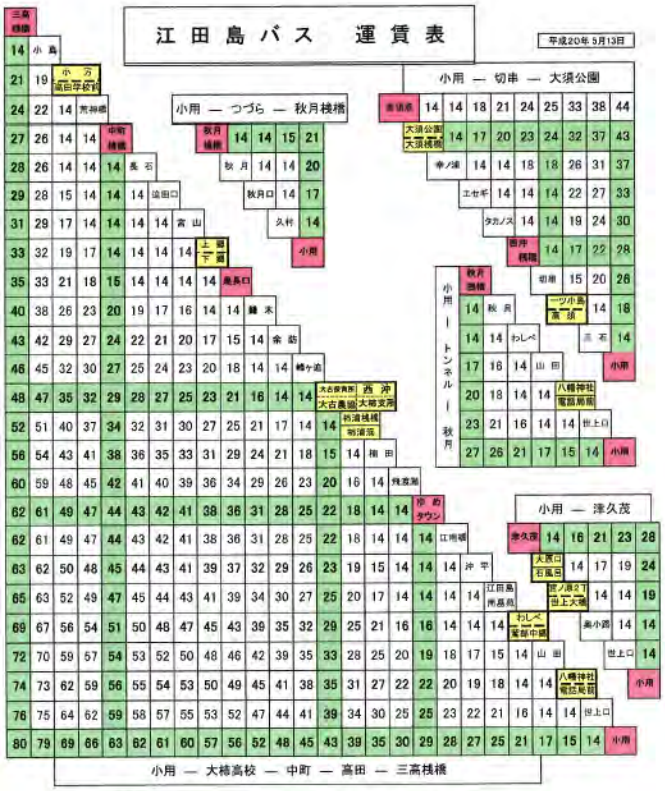
中町桟橋 — ロッジ — 中町桟橋

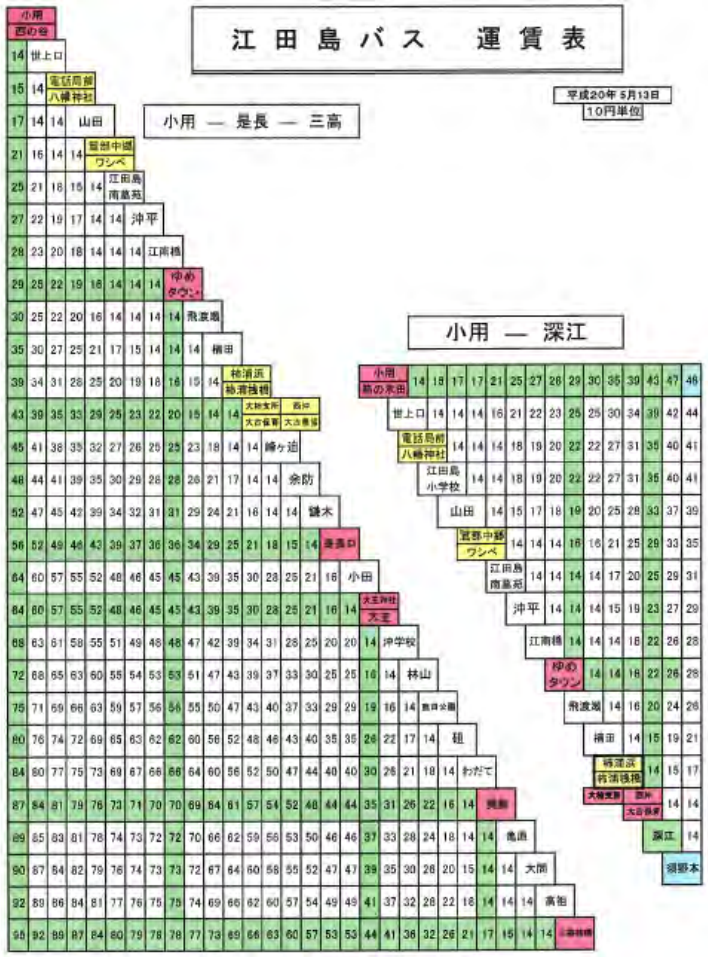
	ゆめタウン	江南橋	内海	大畠 団地	墓地 公園	能保センター	海上ロッジ	黒張住宅	中町桟橋
中町桟橋		23	22	21	18	15	14	14	14
ゆめタウン	23		22	21	19	17	14	14	14
江南橋	22	21		20	19	18	15	14	14
内海	20	19	18		18	17	15	14	14
大畠 団地	18	17	15	14		15	14	14	14
墓地 公園	15	14	14	14	14		14	14	14
能保センター	14	14	14	14	14	14		14	14
海上ロッジ	14	14	14	14	14	14	14		14
黒張住宅	14	14	14	14	14	14	14	14	
中町桟橋	14	14	14	14	14	14	14	14	14

中町桟橋 — 柿浦大君 — 大王 — 峰ヶ迫 — 余防 — 鎌木 — 是長口 — 下郷 上郷 — 宮山 — 迫田口 — 長石 — 南区 — 小方 — 小島 — 三高桟橋

	中町桟橋	柿浦大君	大王	峰ヶ迫	余防	鎌木	是長口	下郷 上郷	宮山	迫田口	長石	南区	小方	小島	三高桟橋
中町桟橋		34	29	27	24	20	15	14	14	14	14	14	14	14	14
柿浦大君	34		14	14	17	21	25	27	31	34	37	40	43	46	48	52	27
大王	29	14		14	14	16	21	23	25	28	32	35	40	42	45	47	51
峰ヶ迫	27	14	14		14	14	18	20	23	26	29	32	33	38	42	45	47
余防	24	17	14	14		14	15	17	20	23	27	29	32	33	35	40	43
鎌木	20	21	16	14	14		14	14	16	21	24	27	31	34	37	39	43
是長口	15	25	21	18	15	14		14	14	14	17	18	23	27	29	32	37	14
下郷 上郷	14	27	23	20	17	14	14		14	14	14	14	17	21	26	29	32	35	40	14
宮山	14	30	25	23	20	16	14	14		14	14	14	15	19	22	26	28	32	33	38	42	45	47	51	26
迫田口	14	31	27	24	21	17	14	14	14		14	14	14	14	19	22	25	28	32	37	41	44	46	48	52	27
長石	14	37	32	29	27	24	22	19	14	14		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
南区	14	40	35	32	29	27	25	23	20	17	14		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
小方	14	43	38	33	32	29	28	26	23	20	17	14		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
小島	14	46	42	38	33	32	29	28	26	22	19	14	14		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
三高桟橋	14	48	45	42	38	33	32	29	28	24	21	14	14	14		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14

三高桟橋 — 高田 — 中町 — 大柿高校 — 柿浦・大君


江田島バス　運賃表
平成20年5月13日
小用 — つづら — 秋月桟橋
小用 — 切串 — 大須公園
小用 — トンネル — 秋月
小用 — 津久茂
小用 — 大柿高校 — 中町 — 高田 — 三高桟橋


江田島バス　運賃表
平成20年5月13日
10円単位
小用 — 是長 — 三高
小用 — 深江

◇島内の施設情報

図- 31　島内観光施設マップ

◇既往の江田島市観光パンフレット

図- 32　江田島市観光マップ

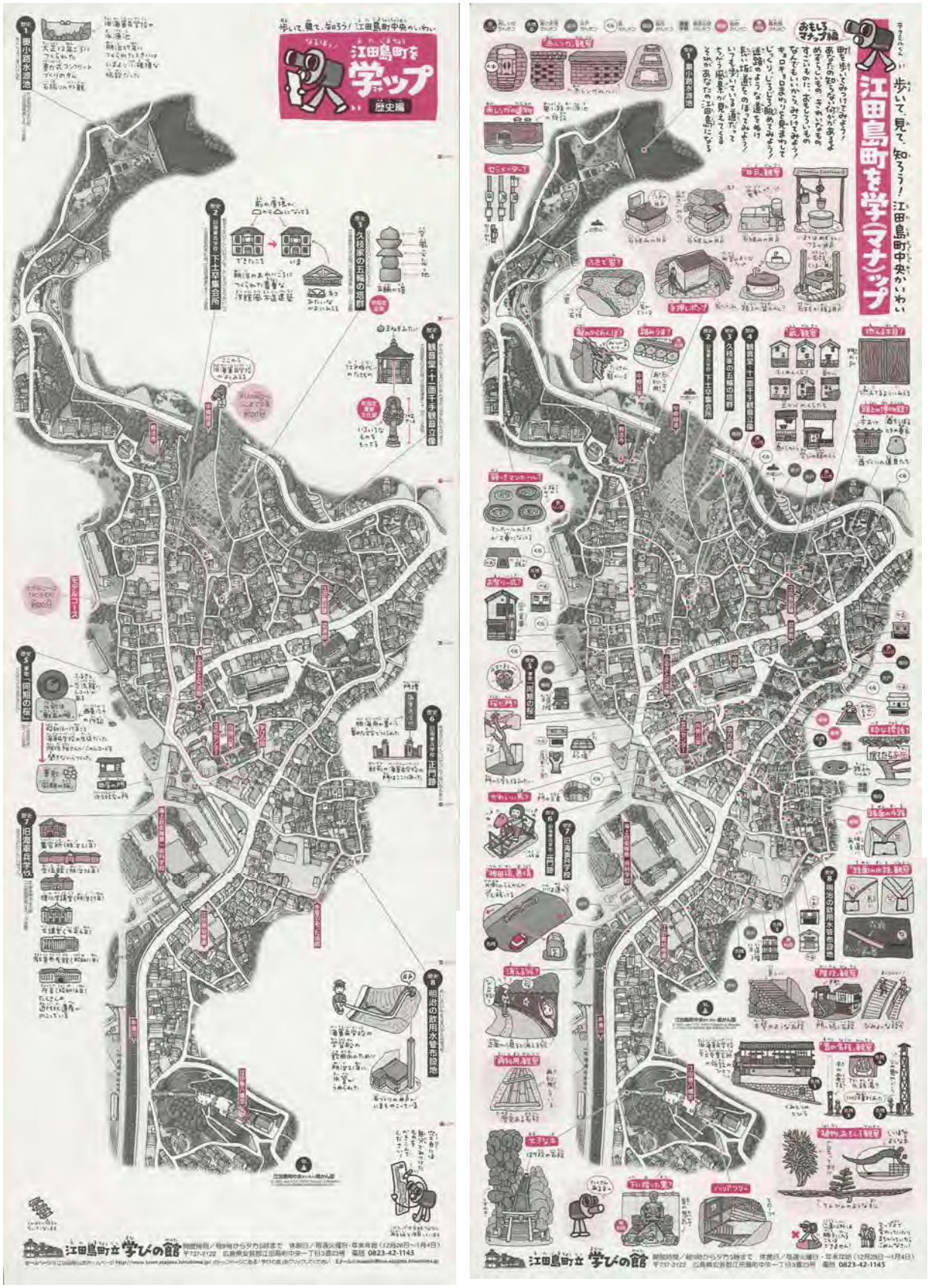


図- 33　江田島町を学マップ（第１術科学校周辺情報）

図- 34　島内ウォーキングマップ

◇島内イベント情報

図- 35 えたじまポートプラザ食菜市場広告

4-2　社会実験の検証方法

海上交通利用者（モニター）を始め、海上交通事業者・地元自治体・地元住民に対して、ヒアリング調査やアンケート調査を実施した。

（１）聞き取り内容

社会実験当日、海上交通利用者（モニター）60人（目標）に対してアンケート調査を実施した。

さらに、その結果をとりまとめた後、モニターからの意見に対する事業者サイドの意見を確認するとともに、島嶼部交流における海上交通や地域の観光施設等の現状と今後の課題等を確認するため、海上交通事業者・地元自治体・地元住民に対して、ヒアリング調査を実施した。

ヒアリング対象者は、（株)ファーストビーチ、江田島市商工観光課、江田島市商工会、東江漁業協同組合、能美海上ロッジとした。

表- 22　社会実験において収集する意見

対象	聞き取り項目
海上交通利用者 （モニター）	・自家用車・自転車・徒歩による島内の経由地 ・島内での使用料金や滞在時間 ・島内の施設やイベントの満足度 ・移動経路において必要とするサービス ・瀬戸内海の島々の来訪状況（回数、目的、メンバー、手段など） ・瀬戸内海の島々を日常的に利用してくための方策
関係機関 （地元自治体や 地元住民等）	・来訪者から収集した意見に対する感想・意見 ・交流促進に向けた取り組み状況や今後の見通し ・島外からの来訪者の増加に伴う効果や問題点

（２）モニターアンケート調査票

海上交通利用者（モニター）に対して実施するアンケート調査は、移動手段及びそれにかかる時間・費用に対する意識、島嶼部内の観光資源・イベントの満足度、来訪者が島嶼部交流に求めるサービス・情報等を確認する設問内容とした。

モニターに対するアンケート調査票は、次のとおり。

アンケート調査票（徒歩・自転車モニター用）

モニターＮＯ．＿＿＿

Ｑ１．本日の江田島交流の「経路」と「内容」についてお答えください。

えたじますごろく

スタート
宇品港
９：２４発

（高速船）
1,030　円

①小用港　えたじまポートプラザ食菜市場
飲食　　円
お土産　　円
その他　　円
９：48 着／　　発

（　　）
円

②
飲食　　円
お土産　　円
その他　　円
（　　着／　　発）

（　　）
円

③
飲食　　円
お土産　　円
その他　　円
（　　着／　　発）

（　　）
円

④
飲食　　円
お土産　　円
その他　　円
（　　着／　　発）

（　　）
円

⑤
飲食　　円
お土産　　円
その他　　円
（　　着／　　発）

⑥　　港
飲食　　円
お土産　　円
その他　　円
（　　着／　　発）

（　　）
円

ゴール
宇品港
＿＿＿着

（　　）
円

アンケート調査票（自家用車モニター用）

モニターＮＯ．＿＿＿

Ｑ１．本日の江田島交流の「経路」と「内容」についてお答えください。

えたじますごろく

スタート
宇品港
９：００発

（フェリー）
2,500　円

①切串港
飲食　　円
お土産　　円
その他　　円
（9：30着／　　発）

（自家用車）
0円

②小用港　えたじまポートプラザ食菜市場
飲食　　円
お土産　　円
その他　　円
（　　着／　　発）

（　　）
円

③
飲食　　円
お土産　　円
その他　　円
（　　着／　　発）

（　　）
円

④
飲食　　円
お土産　　円
その他　　円
（　　着／　　発）

（　　）
円

⑤
飲食　　円
お土産　　円
その他　　円
（　　着／　　発）

ゴール
宇品港
＿＿＿着

（　　）
円

⑥　　港
飲食　　円
お土産　　円
その他　　円
（　　着／　　発）

（　　）
円

Ｑ２．本日の江田島交流には、通常、海上交通費（高速船での往復は約 2,000 円、フェリーでの往復は約 6,000 円）やイベント体験費（約 1,000～2,000 円）などの費用がかかりますが、その点を踏まえて、本日の江田島交流の「満足度」に○印を記入し、その「理由」をお答えください。

質問	回答欄
（回答例）	□満足　□やや満足　□普通　□やや不満　(□不満) 理由）術科学校行バスの出発時間の都合上、カキ打ちが体験できなかった為。 13 時頃には海辺の新鮮市場が売り切れで、昼食が 14 時頃となった為。
Q2-1. えたじまポートプラザ（毎月１回、飲食・物販）	□満足　□やや満足　□普通　□やや不満　□不満 理由：＿＿＿＿＿＿＿＿
Q2-2. カキ打ち体験・試食（通常 1,000 円/人）	□満足　□やや満足　□普通　□やや不満　□不満 理由：＿＿＿＿＿＿＿＿
Q2-3. シーサイド温泉のうみ（通常 600 円/人）	□満足　□やや満足　□普通　□やや不満　□不満 理由：＿＿＿＿＿＿＿＿
Q2-4. その他の経由地	□満足　□やや満足　□普通　□やや不満　□不満 理由：＿＿＿＿＿＿＿＿
Q2-5. 島内の港の設備（旅客ターミナル）	□満足　□やや満足　□普通　□やや不満　□不満 理由：＿＿＿＿＿＿＿＿
Q2-6. 島の人々との触れ合い	□満足　□やや満足　□普通　□やや不満　□不満 理由：＿＿＿＿＿＿＿＿
Q2-7. 海上移動の時間・費用	□満足　□やや満足　□普通　□やや不満　□不満 理由：＿＿＿＿＿＿＿＿
Q2-8. 陸上移動の時間・費用	□満足　□やや満足　□普通　□やや不満　□不満 理由：＿＿＿＿＿＿＿＿
Q2-9. 島内情報の収集	□満足　□やや満足　□普通　□やや不満　□不満 理由：＿＿＿＿＿＿＿＿
Q2-10. 総合的感想	□満足　□やや満足　□普通　□やや不満　□不満 理由：＿＿＿＿＿＿＿＿

Ｑ３．本日の江田島交流の体験結果を踏まえて、移動中の各地点において、どのようなサービスや施設があると良いとお考えか、お答えください。（複数回答可）

質問	回答欄
Q3-1. 海上交通での移動中（船上）	□島内情報案内　□船上ガイド　□物販・飲食施設 □手荷物預かり　□その他（　　）
Q3-2. 島内の発着地（旅客ターミナル）	□島内情報案内　□島内ガイド　□物販・飲食施設 □レンタサイクル　□その他（　　）
Q3-3. 島内での移動中（路上等）	□島内情報案内　□休憩施設　□物販・飲食施設 □駐車・駐輪場　□その他（　　）
Q3-4. 島内の経由地（観光施設等）	□島内情報案内　□休憩施設　□物販・飲食施設 □駐車・駐輪場　□その他（　　）

Ｑ４．あなたの日常的な瀬戸内海の島々の利用（余暇の過ごし方）についてお答えください。

質問	回答欄
Q4-1.この１年間で、島をどの程度訪れましたか？（一つ回答）	□訪れていない　□年に数回程度　□月に数回程度 □週に数回程度　□その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿））
Q4-2.島を訪れる主な目的はなんですか？（一つ回答）	□観光　□イベント　□スポーツ　□レジャー □飲食　□その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿））
Q4-3.どのようなメンバーで島を訪れることが多いですか？（一つ回答）	□ひとりで　□家族と　□友人と □その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿））
Q4-4.どのような交通手段で島を訪れることが多いですか？（一つ回答）	□自家用車　□バイク　□自転車　□徒歩 □その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿））
Q4-5.その交通手段で島を訪れる際、船舶を利用しますか？（一つ回答）	□する □しない
Q4-6.Q4-5 の回答で海上交通を利用する（しない）理由はなぜですか？（複数回答可）	□楽だから　□早いから　□安いから　□確実だから □景色がいいから　□他に手段がないから □安全だから　□その他（　　）
Q4-7.どのような島の情報を手に入れたいですか？（複数回答可）	□観光地　□景勝地　□伝統行事　□イベント □体験施設　□滞在施設　□飲食施設　□交通情報 □その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿））
Q4-8.島の情報はどのような手段で手に入れますか？（複数回答可）	□ホームページ　□新聞チラシ　□テレビ・ラジオ □雑誌　□知人の紹介　□その他（＿＿＿＿＿＿））
Q4-9.あなたにとって、瀬戸内海の島々が日常的に訪れやすい場となるためには、どのような取り組みが効果的だとお考えですか？（上位３つに○印を記入してください）	□島内資源の魅力向上　□交流イベントの充実 □来訪者をもてなす人の育成　□島内魅力情報の発信 □特産品の物販・飲食施設の充実 □海上交通の移動時間の短縮（片道＿＿＿＿分程度） □海上交通の移動費用の縮減（片道＿＿＿＿円程度） □海上交通と陸上交通の接続の円滑化 □陸上交通手段の充実（例えばレンタサイクル等） □その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿））

Ｑ５．今回の社会実験（江田島交流）に対するご意見や、瀬戸内海の島々に対する思いなど、自由にご記入ください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

4-3　社会実験の実施状況

社会実験の実施状況は、以下のとおり。

出発前受付（宇品旅客ターミナル）

高速船で小用港に到着

えたじまポートプラザ食菜市場（小用港）

牡蠣打ち体験（小用港）

島内バスのりば（小用港）

第 1 術科学校見学

海辺を散策中（能美町）

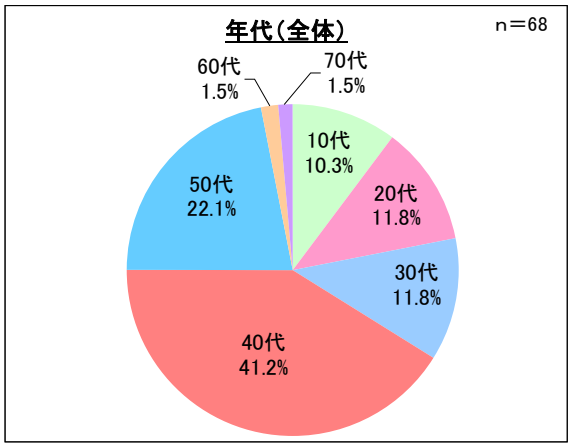
帰着時受付（宇品旅客ターミナル）

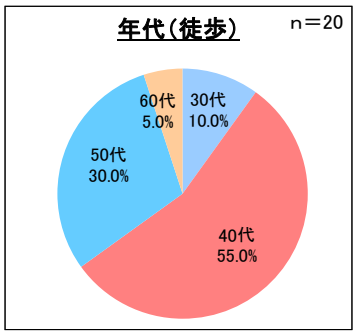
4-4　モニターアンケート集計結果

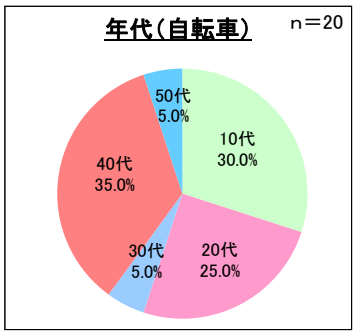
モニターアンケートの結果は、以下のとおり。

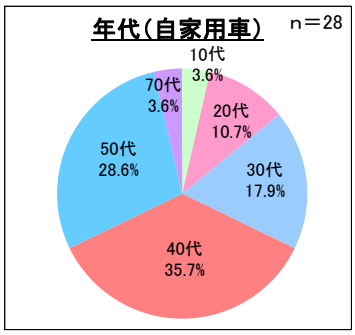
回答者属性

①年代

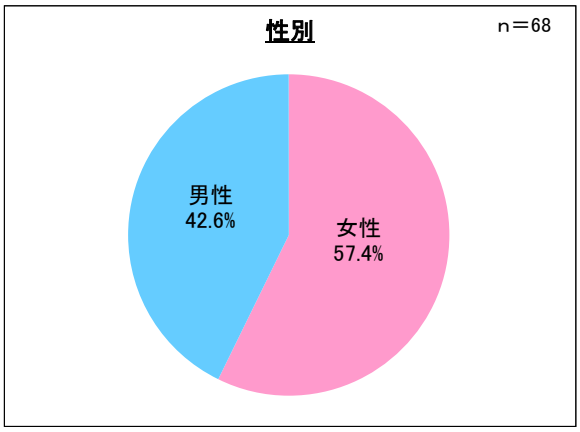


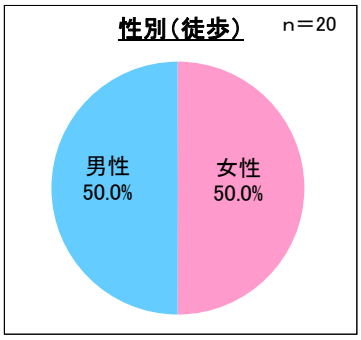


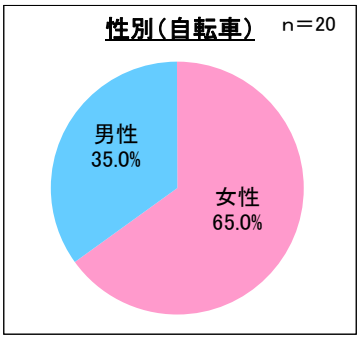


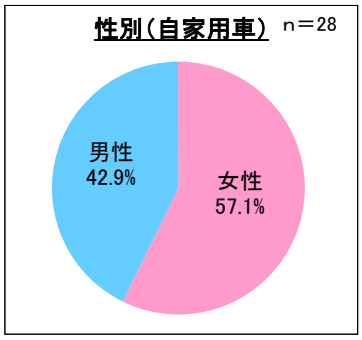


②性別





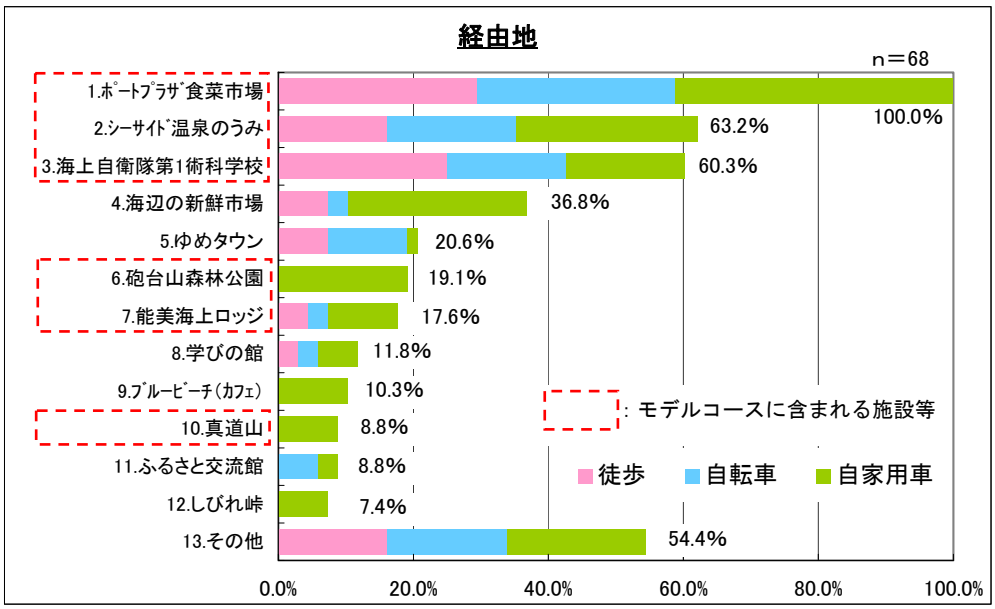




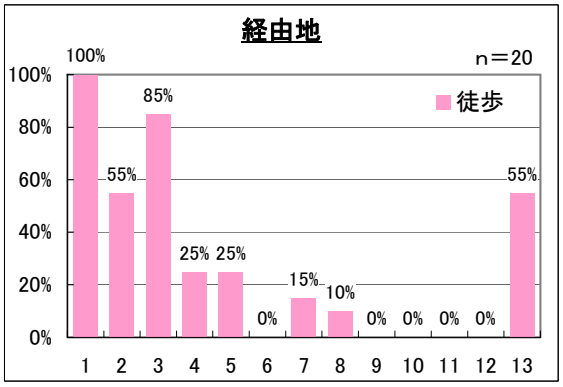
Q１. 本日の江田島交流の「経路」と「内容」についてお答えください

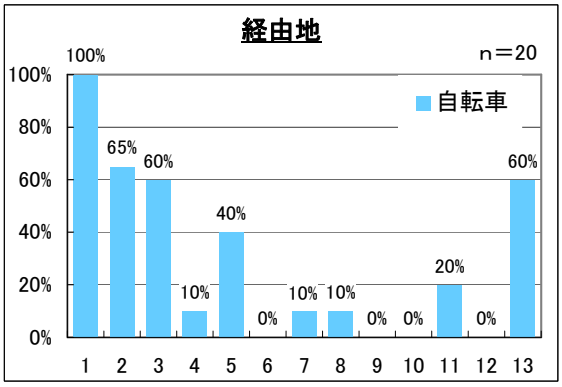
①経由地

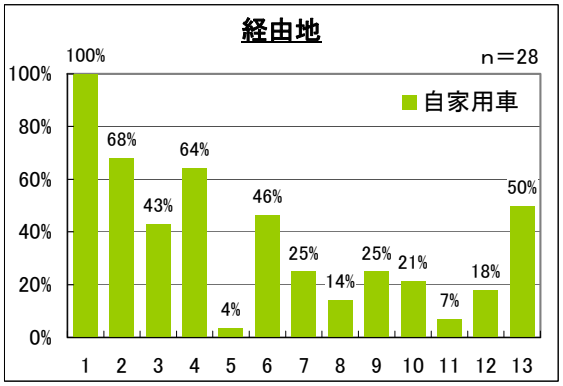
・主要な観光施設（海上自衛隊第１術科学校）の経由率は約６割
・シーサイド温泉のうみの経由率も約６割
・モデルコース以外にも、多様に経由（ショッピングセンター、カフェ、移動中の風景など）

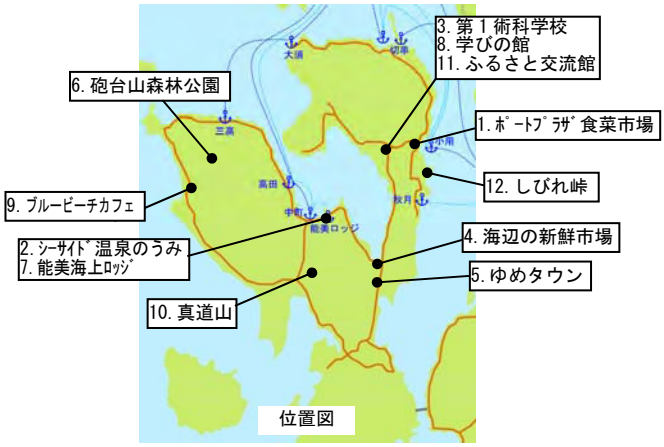


その他
江田島銘醸株式会社、江田島八幡宮、のうみグリーンウォーキングコース、藤三（スーパー）、古鷹山、お好み焼き・琴、貴船神社、コンビニ、アーテコハウス、一渡瀬、切串、大石餅 今井商店、中華料理店、交流促進センター（さくら）、入鹿神社、軍艦利根資料館



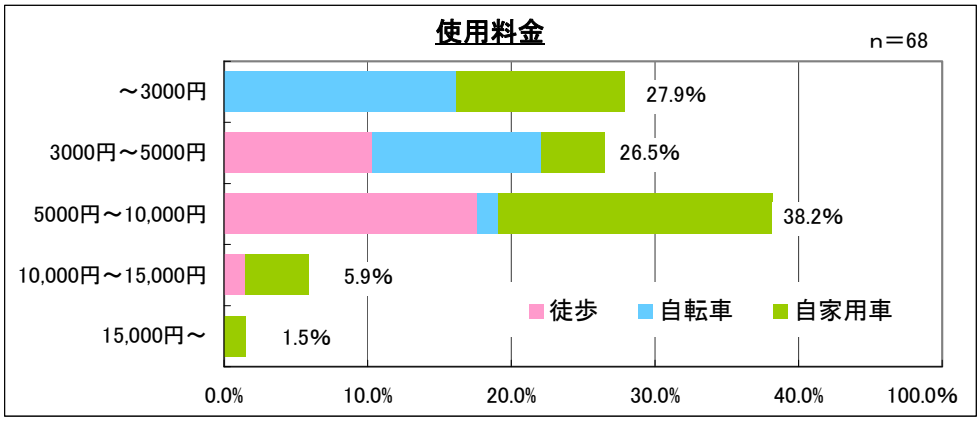






②使用料金

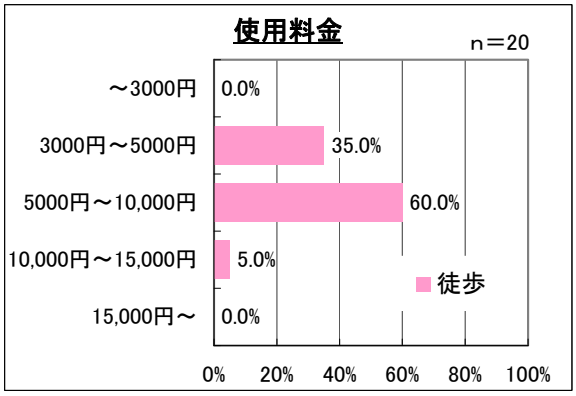
・交通費を含まない使用料金を回答
・徒歩は、使用料金が比較的高く、購買・飲食が目的と考えられる
・自転車は、使用料金が比較的低く、移動そのものが目的と考えられる
・自家用車は、購買・飲食目的とドライブとに２極化したと考えられる

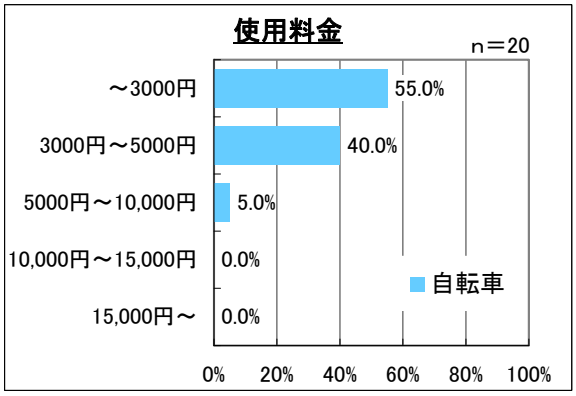


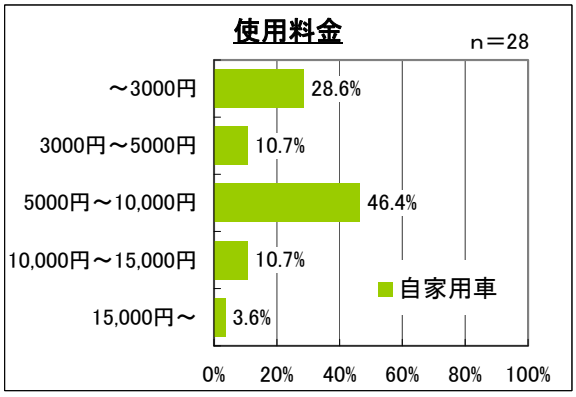
最大使用料金
15,030円（自家用車）

最低使用料金
1,600円（自家用車（同乗者））

平均使用料金
5,485円（徒歩）、3,159円（自転車）、6310円（自家用車）

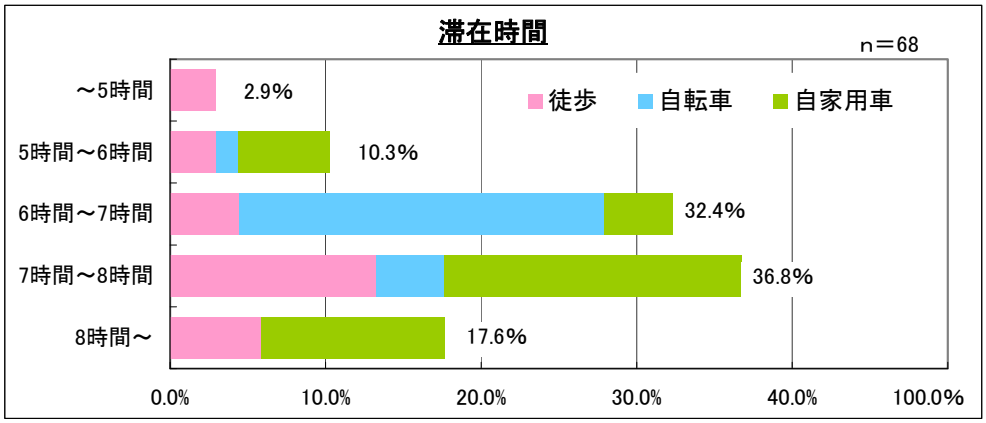






③滞在時間

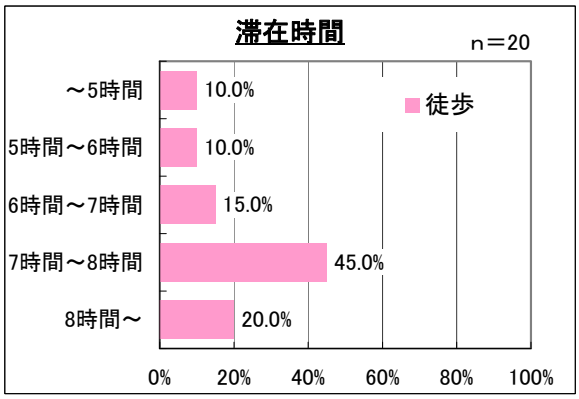
・広島～江田島間の海上交通の移動時間も含む時間を回答
・自転車は、６～７時間に集中（滞在時間は約５時間）
・自家用車は、７時間以上に集中（滞在時間は約６時間以上）
・徒歩は、自家用車は同様の分布を示すが、公共交通のダイヤに左右されたものと考えられる

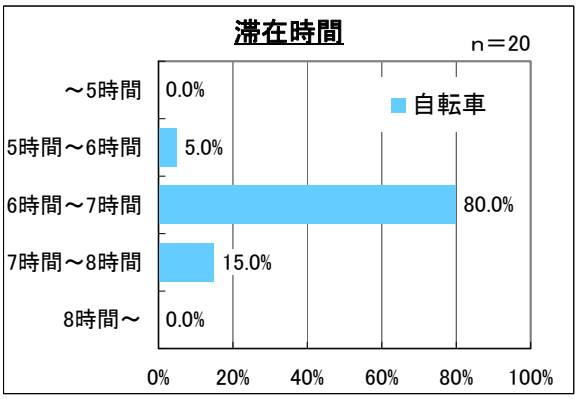


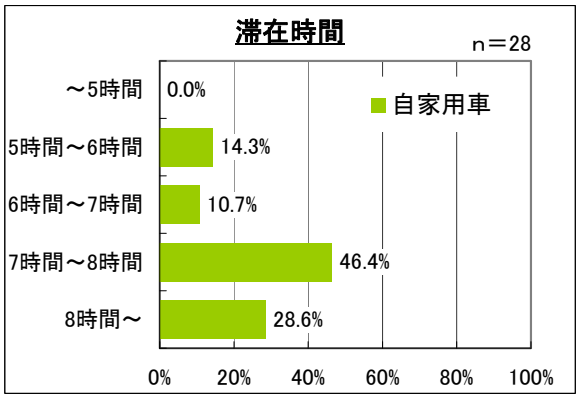
最大滞在時間
8時間50分（自家用車）

最低滞在時間
4時間36分（徒歩）

平均滞在時間
6時間55分（徒歩）、6時間29分（自転車）、7時間24分（自家用車）



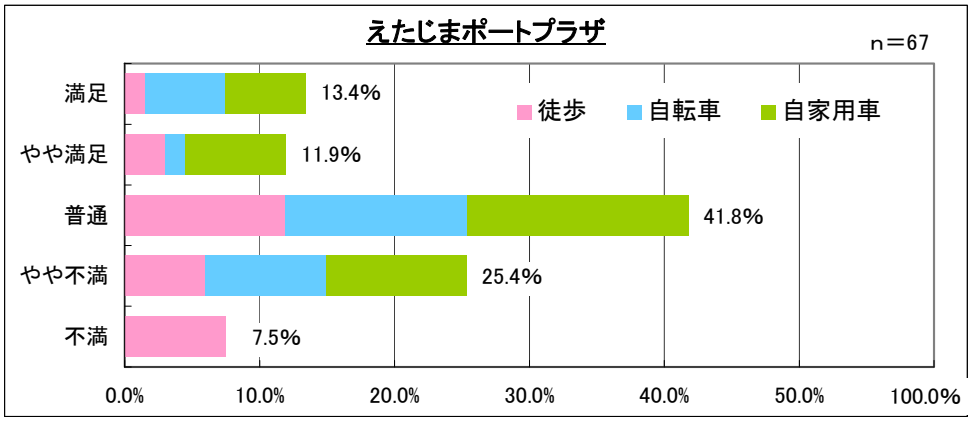


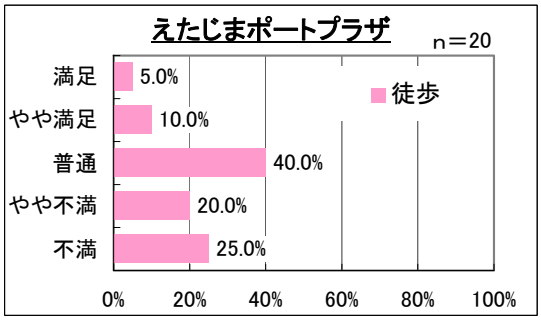


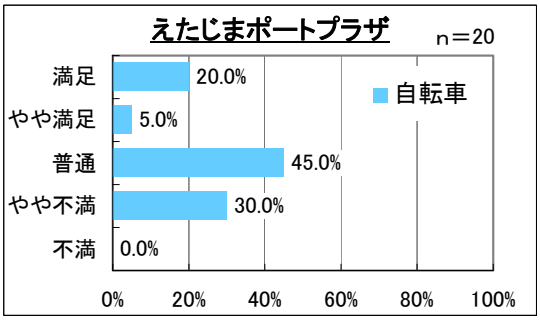
Q２. 本日の江田島交流の「満足度」とその「理由」をお答えください

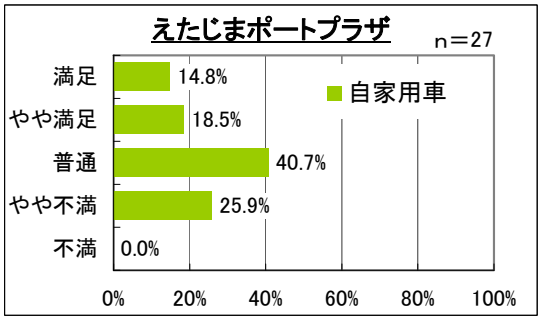
①えたじまポートプラザ（食菜市場）

・小規模なイベントであり、普通の満足度が多い
・徒歩は、手荷物の扱いに苦慮した模様







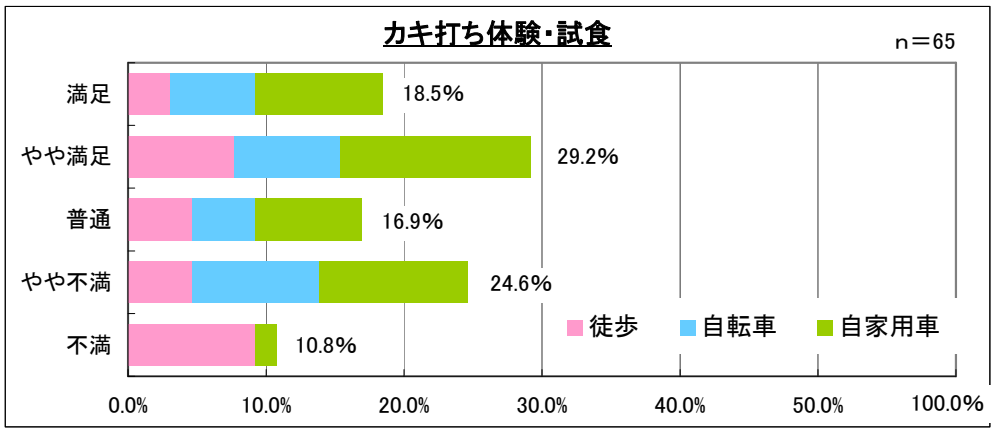


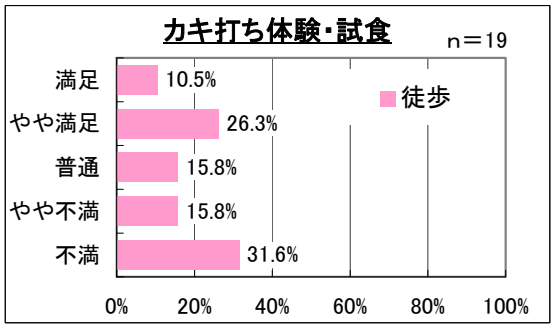
その理由　：徒歩　：自転車　：自家用車　：共通

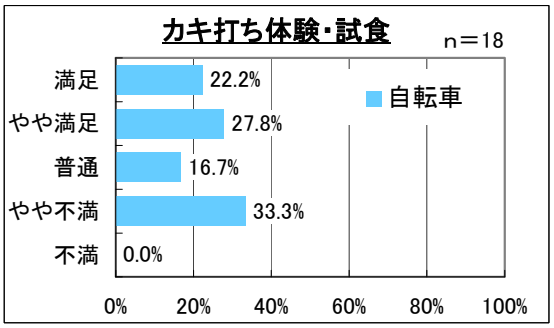
	意見		
満足	・楽しかった ・飲食物、お土産、お店が充実していた	・おいしかった	・地元の人がフレンドリー
やや満足	・時間が早いのでお土産が買えない（持ち歩けない）	・おいしかった ・飲食物、お土産が充実していた	・江田島限定のお土産があるとよい
普通	・高い ・冬は温かい汁物などがあるとよい	・活気が足りない（PR不足） ・キレイだった	・品数、イベント、店、テーブルが少ない ・価格は手ごろ
やや不満	・江田島の特産物が少ない	・高い	・品数や店が少ない
不満	・重たくて持ち歩けないので買えない	・買いたいものがない	・店の数も少なく、活気がない

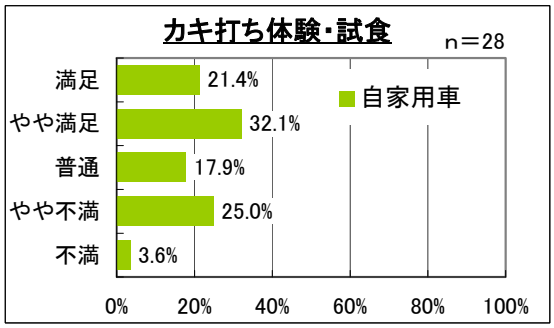
②カキ打ち体験・試食

・無料で体験して頂いたものの、通常 1000 円を念頭に回答
・満足度は分散







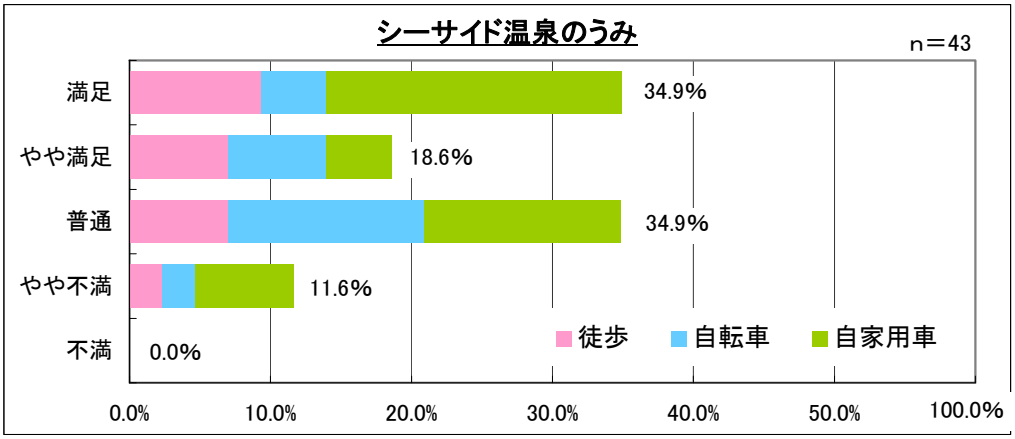


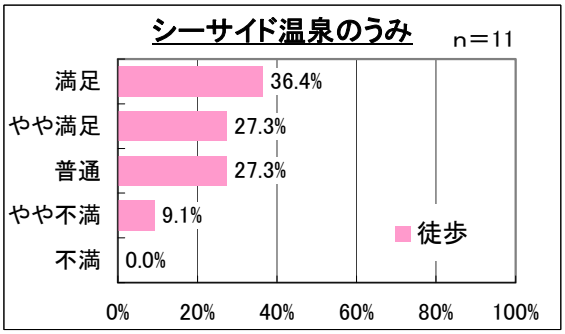
その理由 ：徒歩 ：自転車 ：自家用車 ：共通

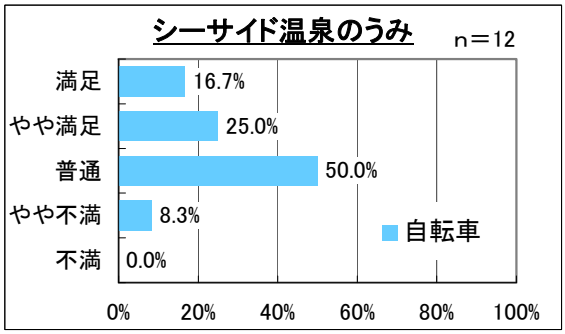
	意見		
満足	・地元の人が教えてくれた ・おいしかった	・良い経験になった ・新鮮だった	・子どもが喜んでいた ・自分でカキ打ちしたものを、焼いて食べられたらもっとよかった
やや満足	・教えてくれる人がいなかった ・おいしかった ・もう少しカキがあればよかった	・良い経験になった ・通常1000円は高い ・人が多くてゆっくり楽しめなかった	・子どもが喜んでいた ・島民の人には試食がなく、気の毒だった為
普通	・試食が待たされた ・おいしかった	・カキ打ちのカキがもったいない ・通常1000円は高い	・教えてくれる人がいない ・もっと丁寧に教えて欲しい
やや不満	・試食の列が1列しかなく待たされる ・値段の割りに試食の数が少ない	・カキが十分に食べられなかった ・通常1000円は高い	・教えてくれる人がいない
不満	・待ち時間が長い、スムーズでない	・通常1000円は高い （宮島は1000円で試食12個）	・教えてくれる人がいない

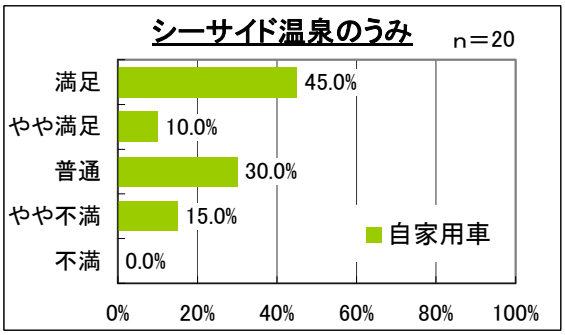
③シーサイド温泉のうみ

・半額割引で体験して頂いたものの、通常 600 円を念頭に回答
・徒歩や自家用車の満足度が高い







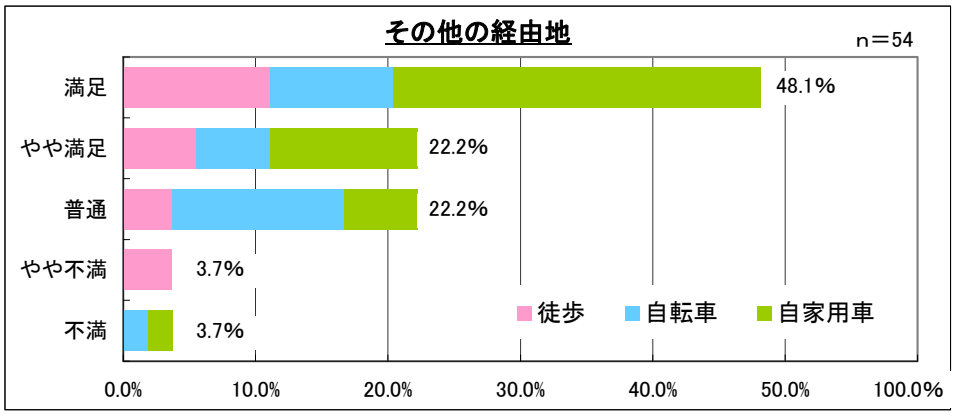


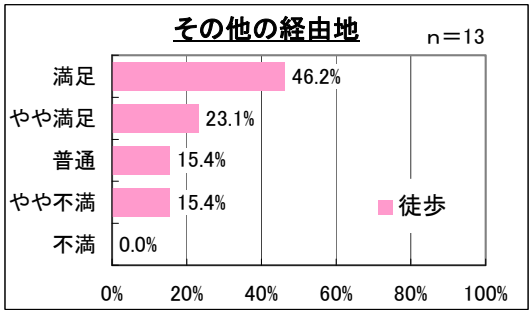
その理由 ：徒歩 ：自転車 ：自家用車 ：共通

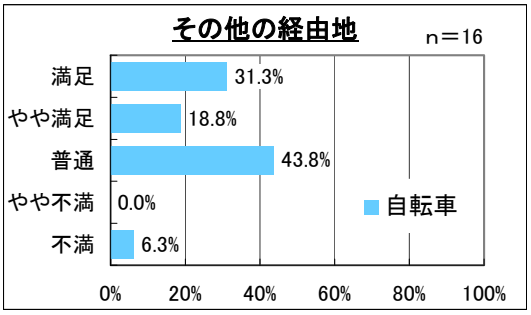
	意見		
満足	・半額で入れた ・シャトルバスや路線バスの数があると便利	・キレイで、気持ちよかった ・ゆっくりくつろげた ・温泉を使っていた為	・露天風呂がよかった ・アイスを食べられた ・昼食がおいしかった
やや満足	・駅伝の団体客と重なって混雑した（レストラン） ・昼食がもっとおいしければよかった	・海がキレイ ・もう少し安くてもよい ・ロビーの休憩所が狭い	・広い ・お風呂はよかった
普通	・駅伝の団体客と重なって混雑した（レストラン）、くつろげなかった ・おいしかった	・施設はきれいだった ・脱衣所、休憩場所が狭い	・気持ちよかった ・ソフトクリームは別のところで売ったほうがよい
やや不満	・自転車では遠いのでやめたほうがいいと言われ、断念した為	・ドライヤーが少ない ・レストランが混んでいた	・貸しタオルがなかった ・もう少し安くてもよい
不満			

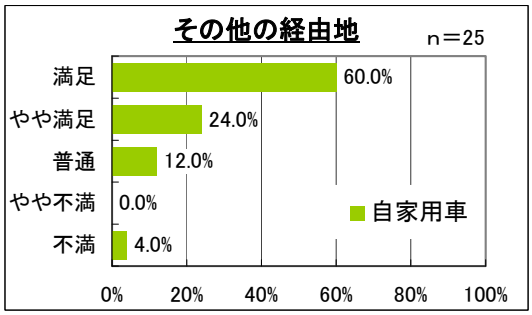
④その他の経由地

・術科学校や景勝地で高い満足度
・飲食関係で不満意見もあり







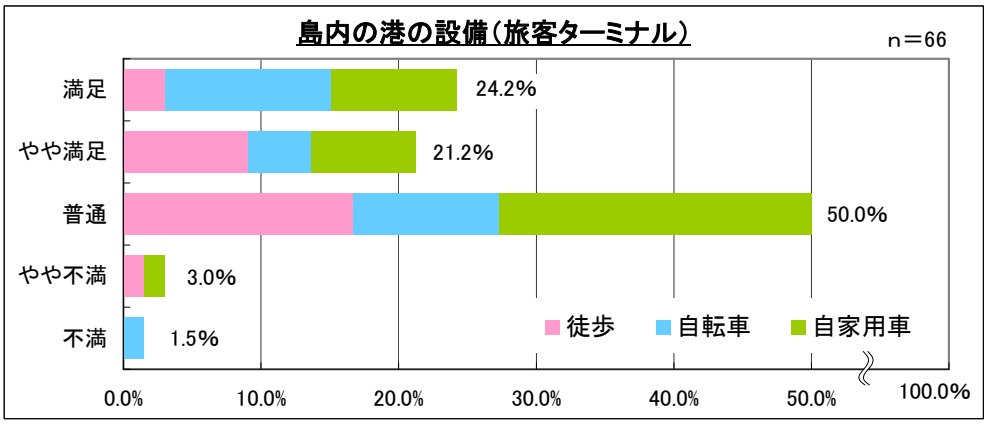


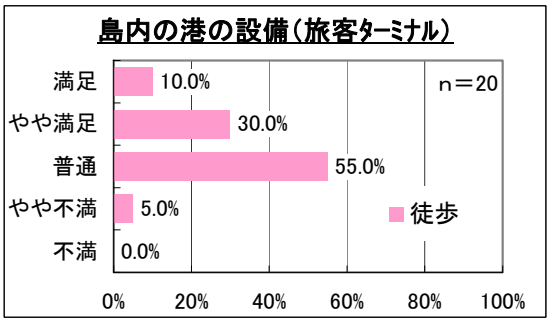
その理由 ：徒歩 ：自転車 ：自家用車 ：共通

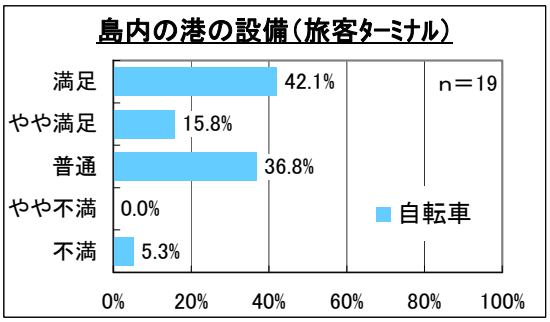
	意見		
満足	（術科学校） ・楽しく、丁寧な説明で満足 ・歴史の事がよくわかった ・また行きたい （学びの館） ・せん茶道体験教室で貴重な体験	（江田島銘醸㈱） ・酒蔵の中を丁寧に案内してくれた （新鮮市場） ・安くて新鮮でおいしい （ブルービーチ（カフェ）） ・店員さんの人柄がよく、また行きたい	（砲台山、しびれ峠、長瀬海岸など） ・景色がよく、癒された （その他） ・改めて島の美しさを認識した ・江田島の文化に触れて楽しかった
やや満足	（真道山、砲台山） ・観光資源として十分に生かされていない （交流促進センター、中華料理店） ・おいしかった	（術科学校） ・また見学したい ・説明があり、分かりやすかった	（その他） ・駅伝が見れた ・もう少し時間がほしかった ・カフェがほしい
普通	（術科学校） ・ボランティアの説明もあり満足	（ゆめタウン） ・子どもが退屈せず過ごせた	（その他） ・もう少し、整備・管理が必要
やや不満	（新鮮市場） ・売り切れで、昼食をとる店を探すのが大変だった		
不満	・間隔が遠い		

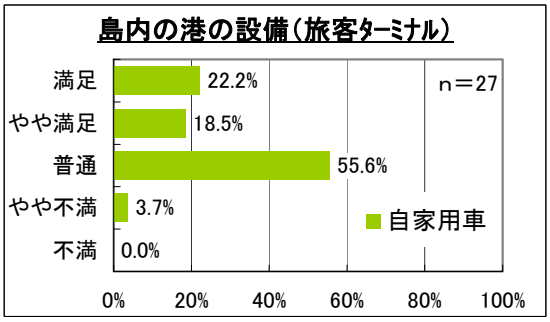
⑤島内の港の設備（旅客ターミナル）

・新しい旅客ターミナルであるため、普通以上の満足度
・情報発信の面で、不満意見もあり







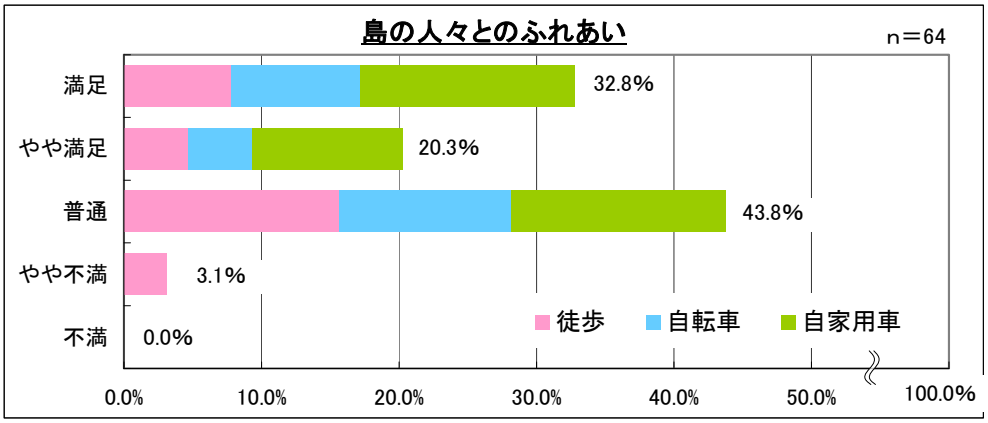


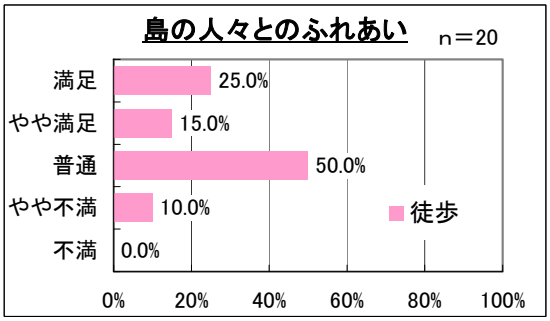
その理由　：徒歩　：自転車　：自家用車　：共通

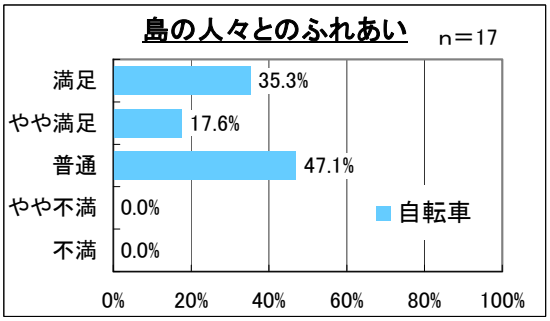
	意見		
満足	・キレイで気持ちよい ・トイレがキレイ	・ゆっくり落ち着ける ・待合室もあり、規模は十分	・どの船に乗ればよいか分かりやすい ・新しく利用しやすい
やや満足	・新しく整備されていてきれいでよい ・土日だけでも直売所があるとよい	・景色がきれい ・目的地とバス停がわかりにくい	・カフェがあるとよい
普通	・どこの港も同じようなもの ・思っていたより、キレイ ・清潔だが、明るさがない	・切符を買うとき戸惑った ・車移動なので見ていない ・土地のお土産がない、種類が少ない	・カフェなど飲食のできる施設がほしい ・観光情報があればよい
やや不満	・案内表示が分かりにくい	・古い	
不満	・暗く、さみしい	・土産などが少ない	

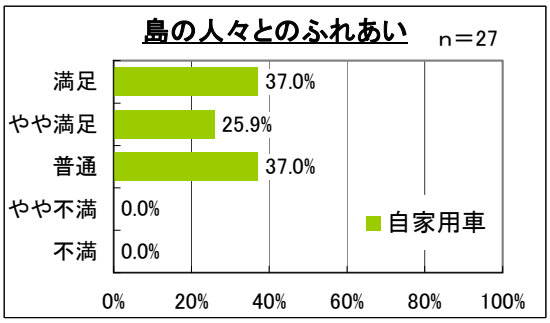
⑥島の人々とのふれあい

・高い満足度
・ふれあいの場に対する不満意見もあり







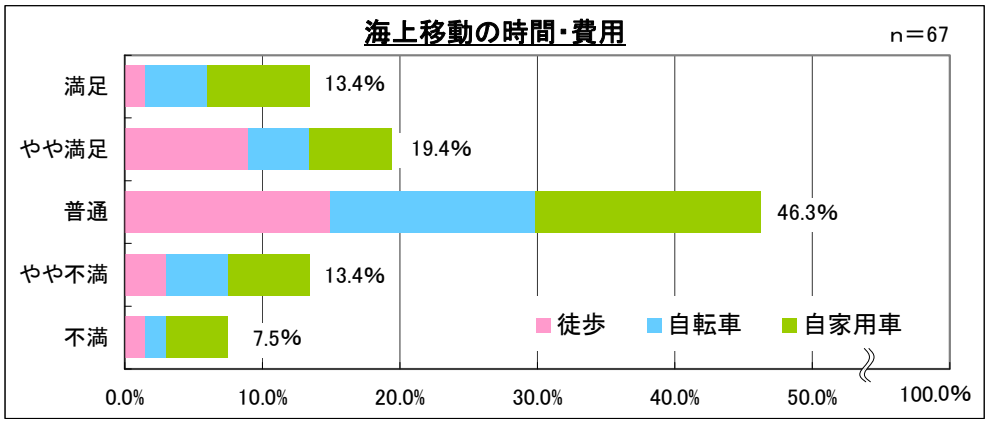


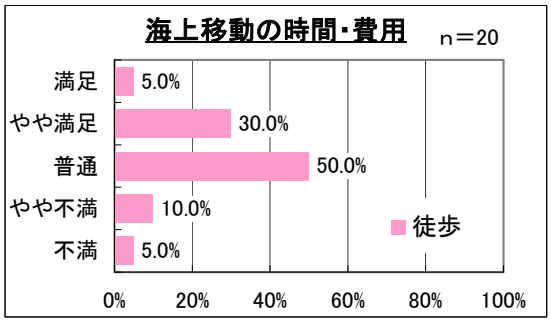
その理由 ：徒歩 ：自転車 ：自家用車 ：共通

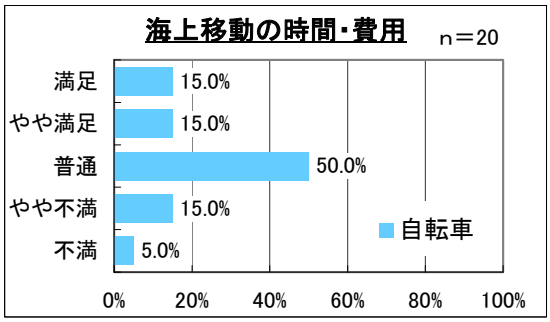
	意見		
満足	・気さくに声をかけてくれる ・サイクリングを応援してくれた	・歓迎されていると感じた ・親切	・準備中のお店を開けてくれた
やや満足	・親切で優しい ・多くの時間は取れなかった	・島の通な情報を教えてくれた ・店の人などもう少し親切であればよかった	・声をかけてくれた
普通	・フェリー乗り場周辺が活気がない ・挨拶程度	・あまりふれあえていない	・小学生が挨拶してくれた
やや不満	・ふれあう場所がない		
不満			

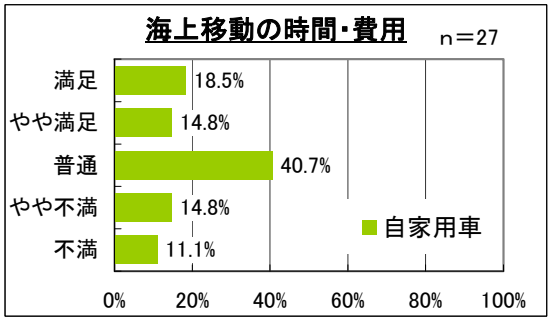
⑦海上移動の時間・費用

・海上交通費用は負担させずに回答
・海上交通による時間・費用は、可もなく不可もなく、普通の満足度が多い







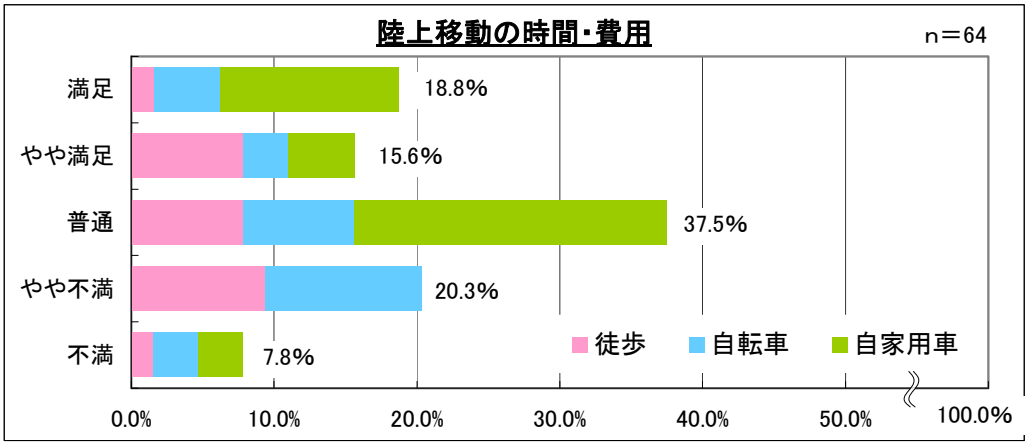


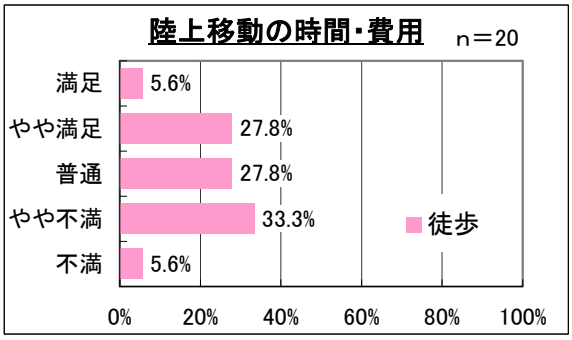
その理由 ：徒歩 ：自転車 ：自家用車 ：共通

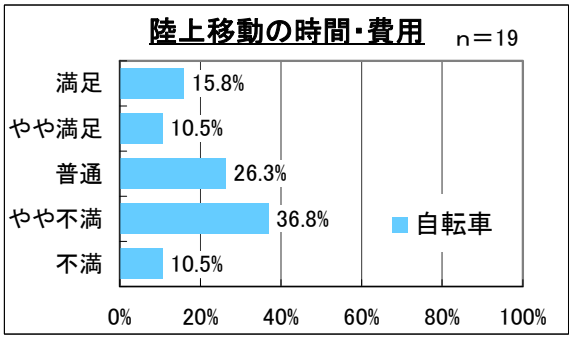
	意見
満足	・家族と話ができた　・瀬戸の島々を堪能する時間にはよい　・時間も金額も妥当
やや満足	・利用者が増えたら値下げしてほしい　・思っていたより近い　・船内でくつろげる ・料金が高い　・フェリーは時間がかかる　・高速船は席が少ない
普通	・料金が高い　・割引があるとよい
やや不満	・料金が高い　・時間がかかる
不満	・料金が高い

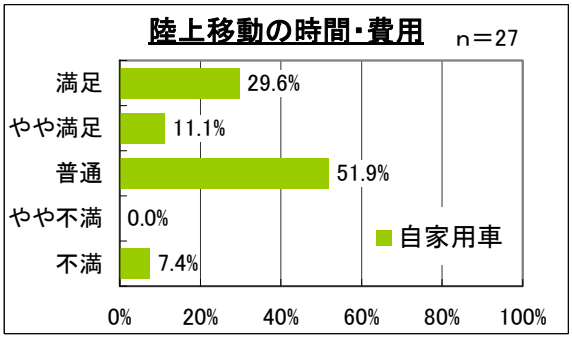
⑨陸上移動の時間・費用

・陸上交通費用は負担させずに回答
・普通の満足度が多いものの、徒歩（バス便数等）、自転車（距離、狭い等）の不満は高い







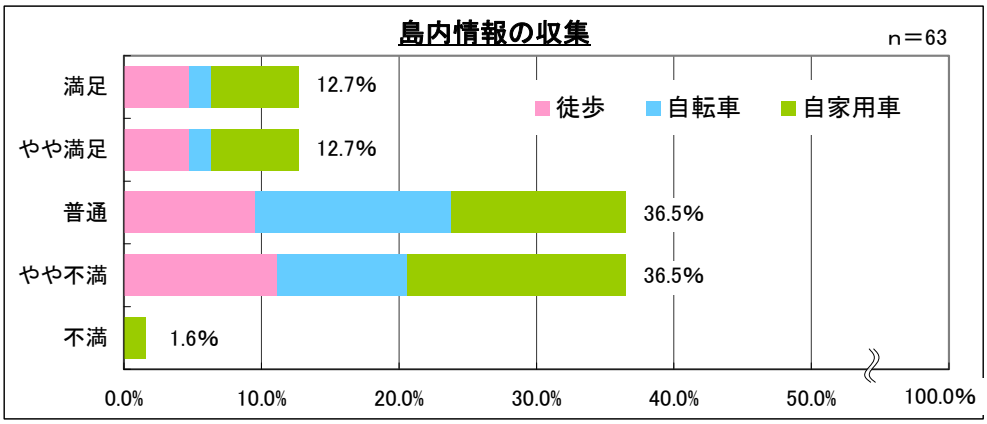


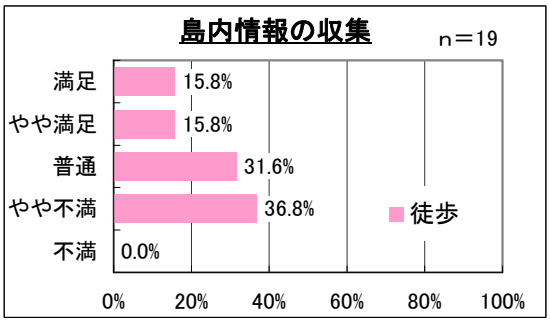
その理由　：徒歩　：自転車　：自家用車　：共通

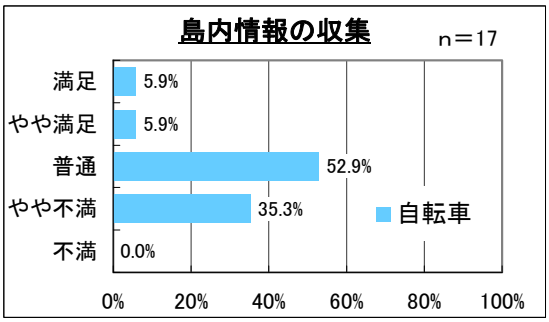
	意見		
満足	・家族と話ができた ・疲れたけどいい運動になった	・楽しかった ・景色がよかった	・すぐ目的地にいける
やや満足	・距離が長く、時間がかかる ・気持ちよかったが、疲れた	・道の狭いところがある ・景色がよかった	・バスの本数が少ない ・混雑もなく、駐車場も空いていた
普通	・道が狭く、車や人と近く、危険 ・バス、タクシーが安い	・自転車はキツイ ・体力にあっていた	・快適なドライブ ・バスの本数が少ない
やや不満	・道が狭く、走行しにくく、危険 ・歩道がないところは危険	・時間が拘束される ・徒歩の距離が長いところがある	・バスの本数が少ない
不満	・小用港から自転車でフェリーで帰れると思っていた為	・道案内が分かりにくい ・時間的に余裕がない	・バスの本数が少ない

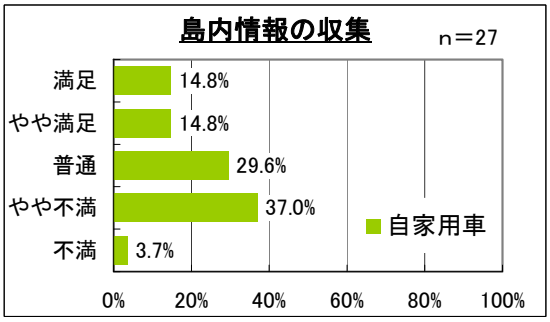
⑨島内情報の収集

・島内情報は提供した上での回答
・いずれのモードにおいても、普通以下の満足度







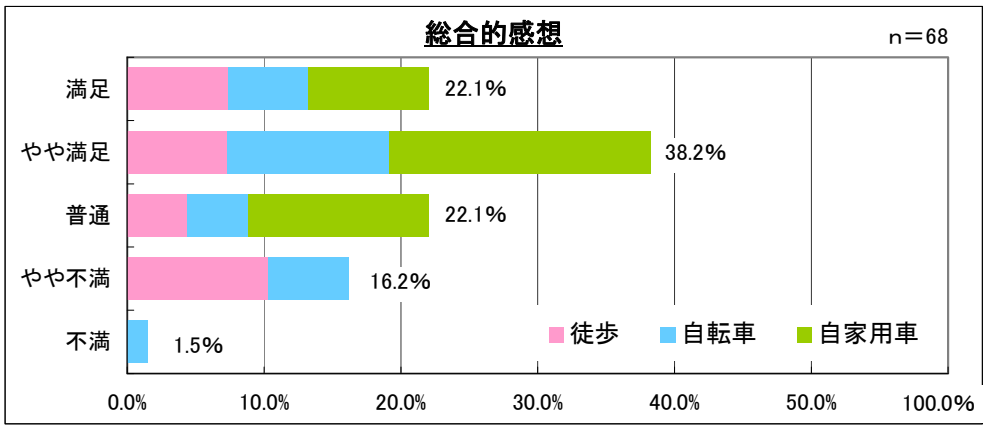


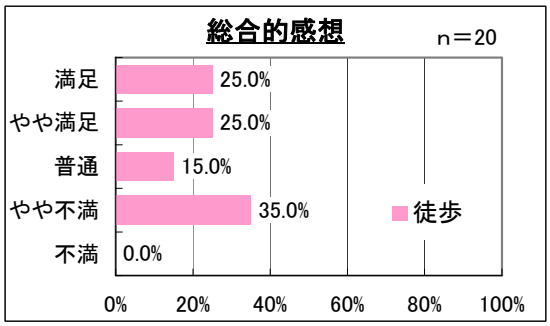
その理由　：徒歩　：自転車　：自家用車　：共通

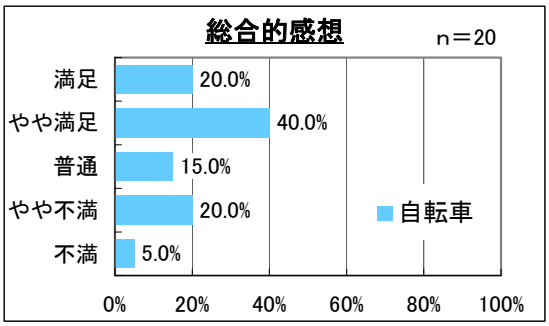
	意見		
満足	・用意してあった資料で楽しめた	・パンフレットに写真があり、よかった	
やや満足	・資料が分かりやすかった	・地理が分からず、迷った	
普通	・資料があってよかった ・パンフレットが充実していた	・ネットで事前に収集	・島内マップが役に立った
やや不満	・案内表示が少なく分かりにくい ・インターネットでは情報に限りがありよく分からなかった	・どこに聞いたらいいか分からない ・地図が見にくい ・少ない	・おすすめ品などの情報が欲しい ・お土産を買える施設が少ない
不満	・案内表示、標識が少なく迷った		

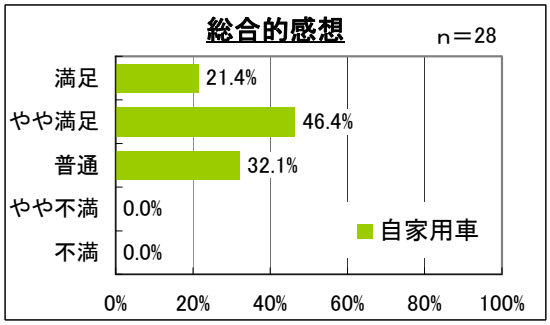
⑩総合的感想

・総合的には、普通以上の満足度
・特に、自家用車は不満意見はなし









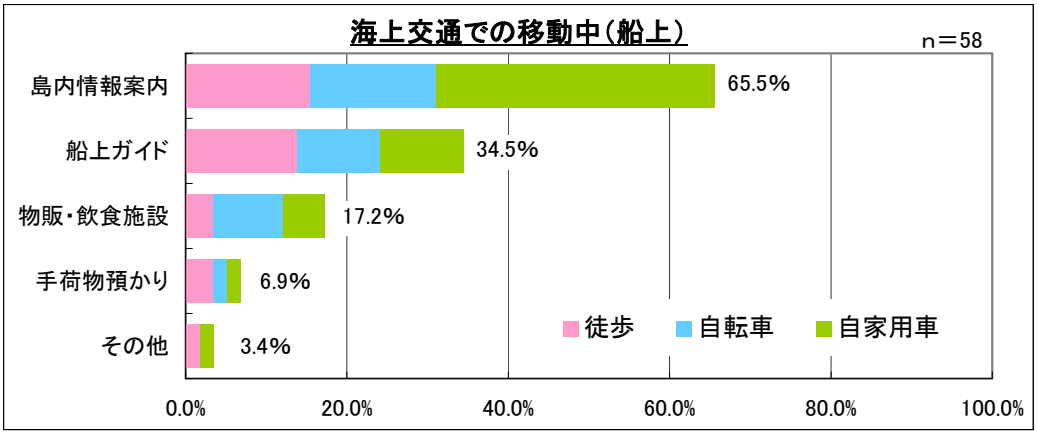
その理由 ：徒歩 ：自転車 ：自家用車 ：共通

	意見		
満足	・楽しく充実していた ・またウォーキングしたい ・体を動かせて気持ちよかった	・子どもの遊ぶところがほしい ・島の人とふれあえた ・歩いたことで色んな出会いがあった	・景色がよく、自然とふれあえた ・新しい江田島を発見 ・新鮮市場が売り切れで残念
やや満足	・楽しかった ・リピーターを増やす努力を ・美味しいものが楽しめた	・海、山、空気がキレイでのんびりできた ・バスは乗り遅れると身動き取れない ・交通費に見合うだけのものが必要	・思ったより見るところがあった ・天気がよく気持ちよく走行できた ・新しい江田島を発見
普通	・新鮮市場が売り切れだった ・天気がよく徒歩は気持ちよかった ・桜の季節に来たい	・案内表示が少ない ・天気がよくいい運動になった ・たまに船に乗ると子どもが喜ぶ	・交通費に見合うだけのものが必要 ・楽しかった
やや不満	・案内表示が少ない ・交通の便が悪い ・ちょっと休憩するところがない	・費用がかかる ・見所が分かりにくい	・島の特徴的なものが少なく、時間をもてあました
不満	・不便		

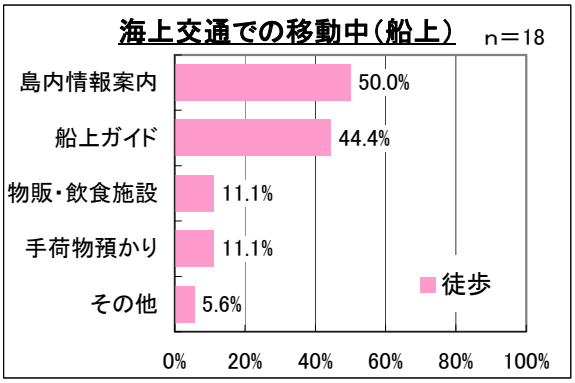
Ｑ３. 本日の江田島交流の体験結果を踏まえて、移動中の各地点において、どのようなサービスや施設があると良いとお考えかお答えください。（複数回答可）

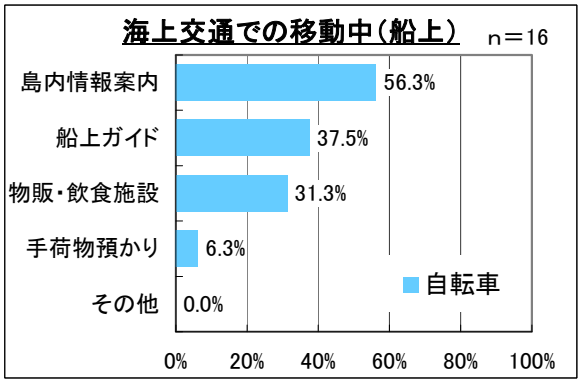
①海上交通での移動中（船上）

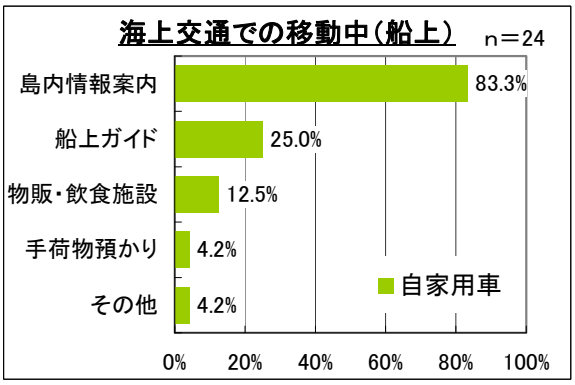
・海上交通での移動中に必要なサービス・施設について回答
・島内情報案内、船上ガイドが上位を占める



その他
・ペットの扱い

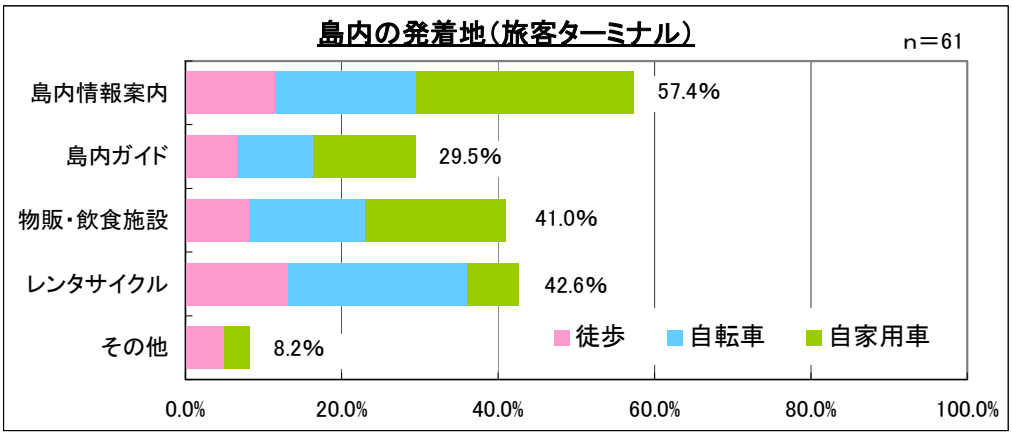




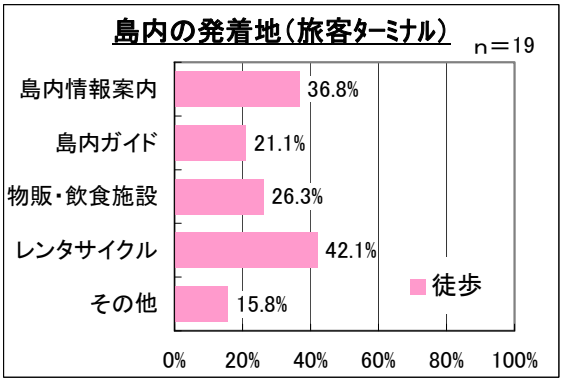


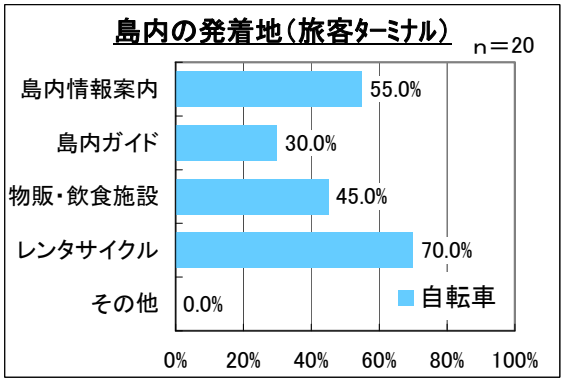
②島内の発着地（旅客ターミナル）

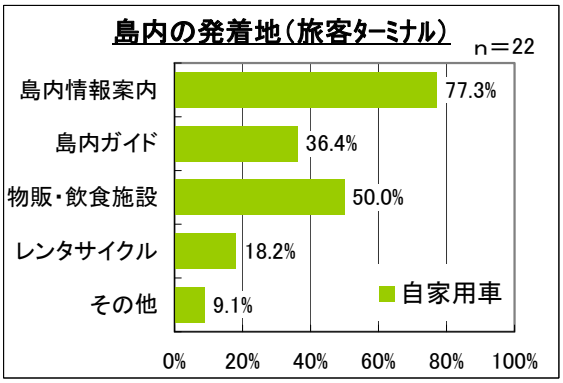
・旅客ターミナルでの必要なサービス・施設について回答
・自家用車は、島内情報案内、物販飲食施設が上位を占める
・徒歩、自転車は、レンタサイクルが上位を占める



その他
・レンタカー　・バスの系統、下車駅の案内　・手荷物預かり

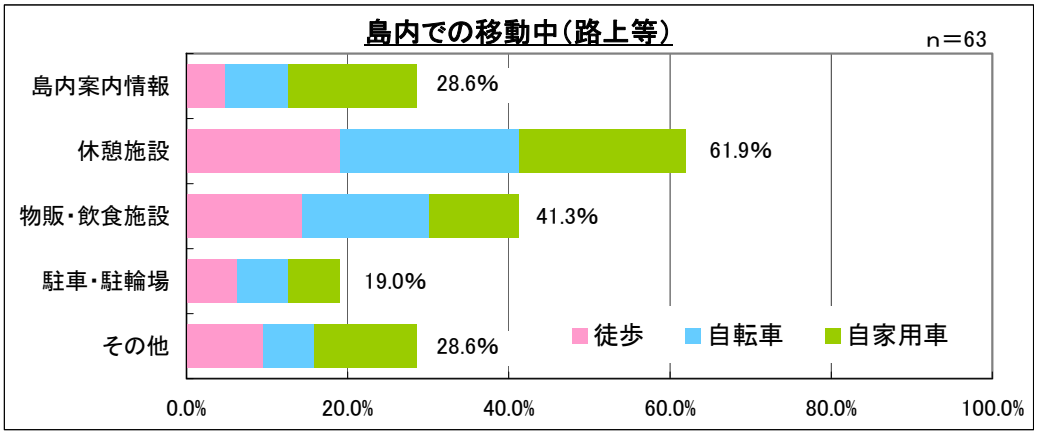




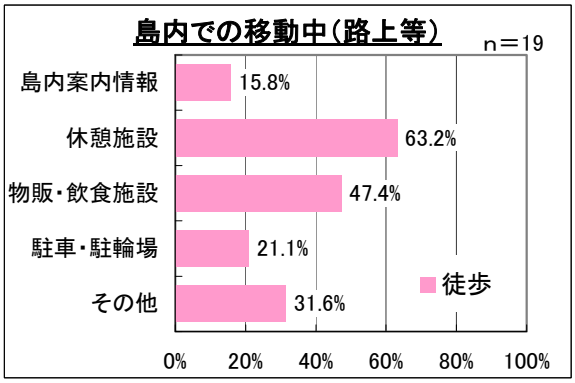


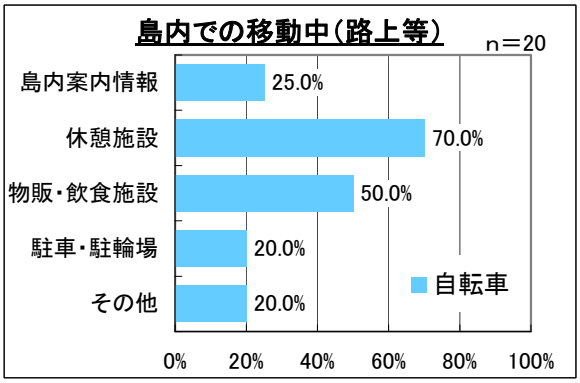
③島内での移動中（路上等）

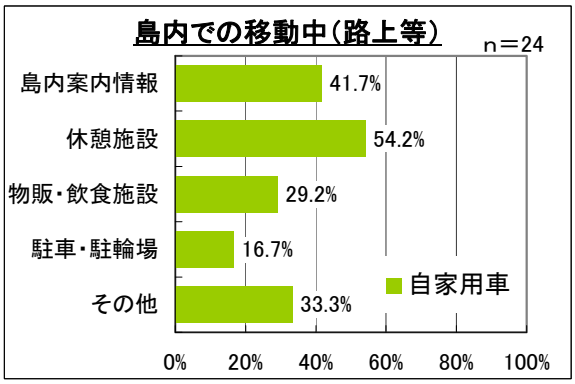
・島内移動中での必要なサービス・施設について回答
・自家用車は、休憩施設、島内情報案内が上位を占める
・徒歩、自転車は、休憩施設、物販飲食施設が上位を占める



その他
・案内表示、標識、看板等
・コンビニ、喫茶店など
・歩道、自転車道の整備
・海岸沿いの道がずっと続いていればよい
・レンタカー
・道の駅
・トイレ

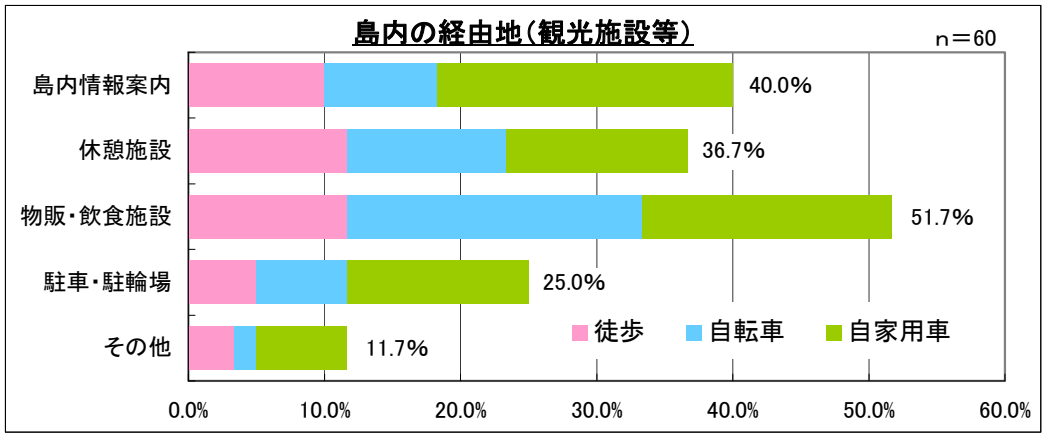




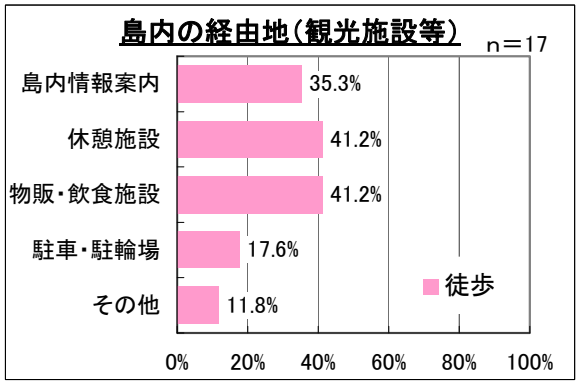


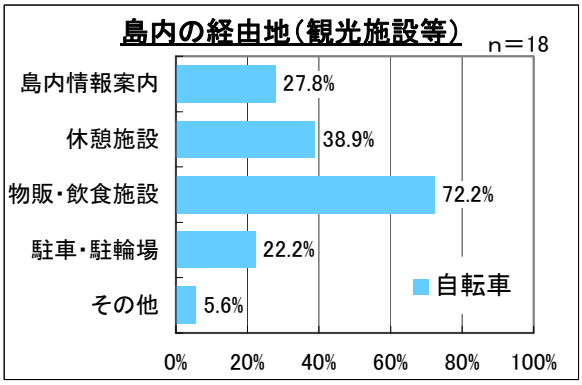
④島内の経由地（観光施設等）

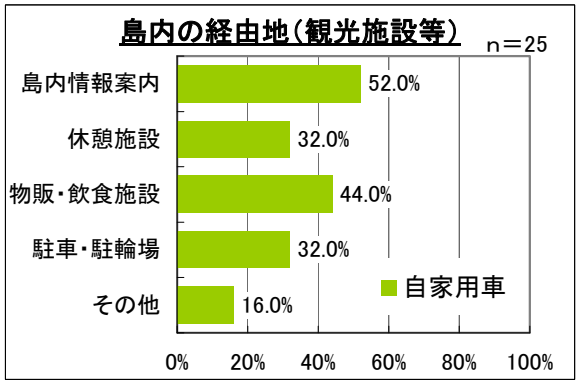
・島内経由地での必要なサービス・施設について回答
・徒歩、自転車は、物販飲食施設、休憩施設が上位を占める
・自家用車は、島内情報案内、物販飲食施設が上位を占める



その他
・手荷物預かり　・案内、看板　・トイレ　・島民おすすめの情報



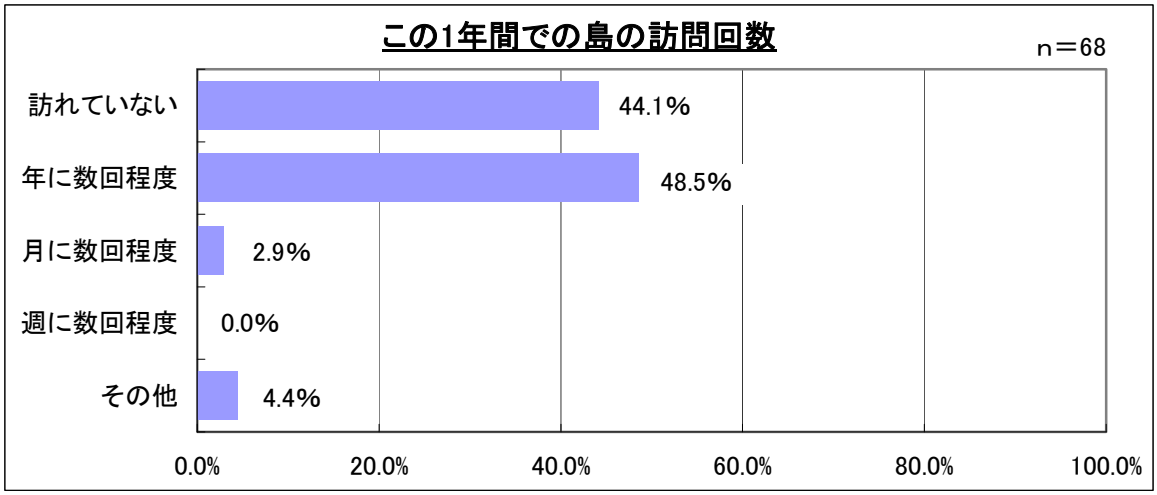




Ｑ４．あなたの日常的な瀬戸内海の島々の利用（余暇の過ごし方）についてお答えください。

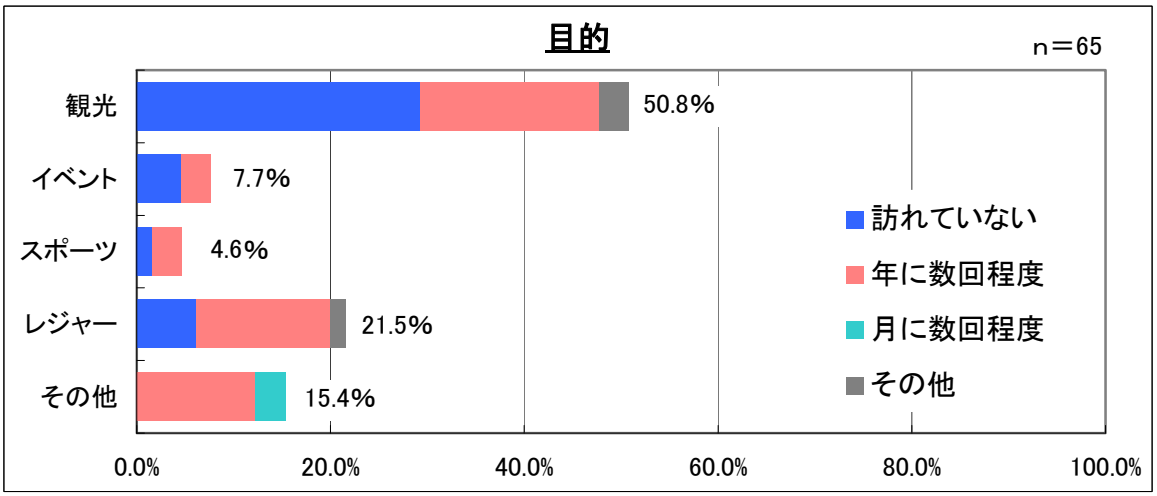
①この１年間で、島をどの程度訪れましたか。（一つ回答）

・瀬戸内海の島々を余暇に訪れる回数は、年に数回又は０回が大半
・目的は、観光が大半



その他
・1年ぶり　・2年に一度

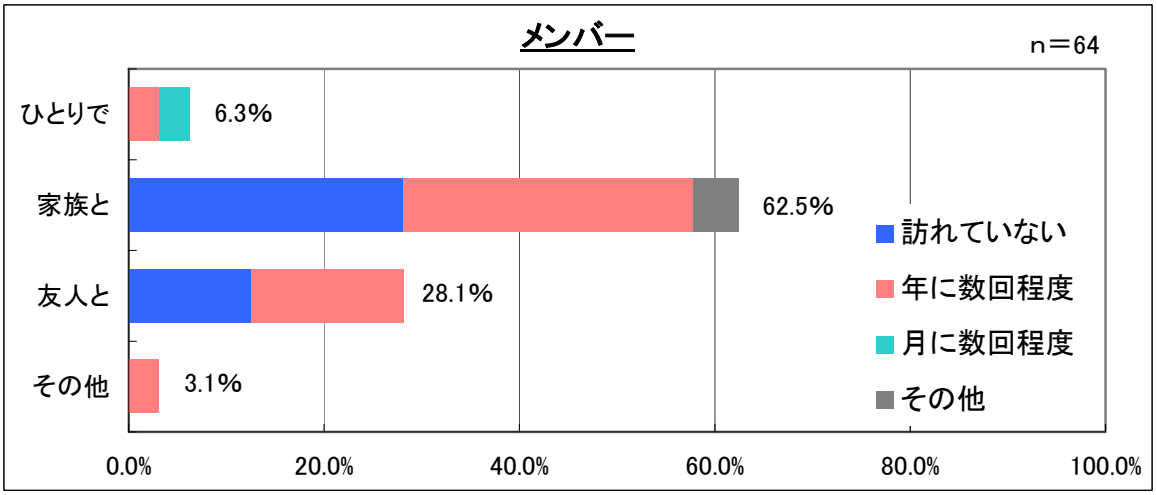
②島を訪れる主な目的はなんですか。（一つ回答）



その他
・仕事　・合宿　・墓参り　・福祉施設

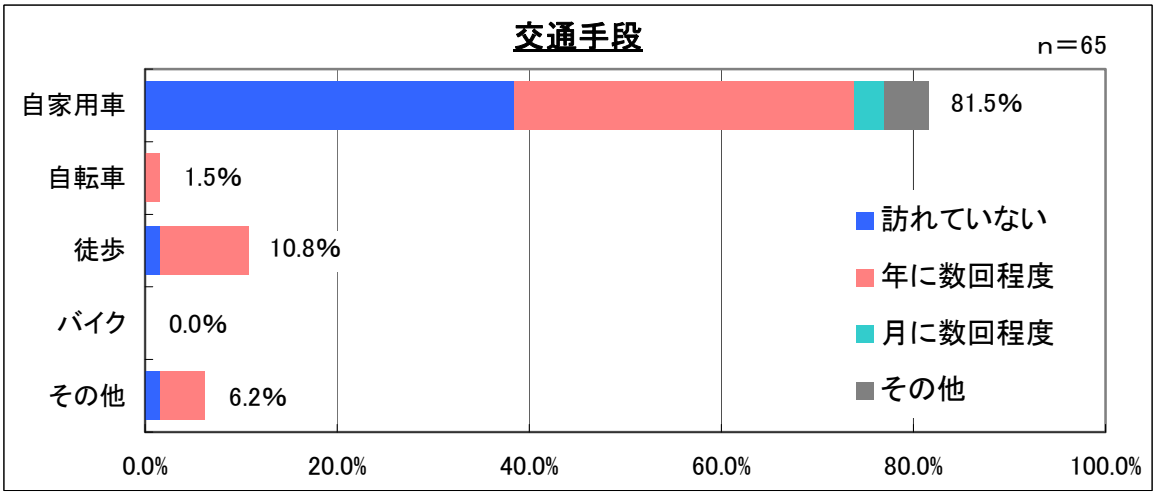
③どのようなメンバーで島を訪れることが多いですか。（一つ回答）

・島を訪れるメンバーは、家族が大半を占め、友人と続く
・交通手段は、自家用車が大半を占める



その他
・会社の人　　・サークル

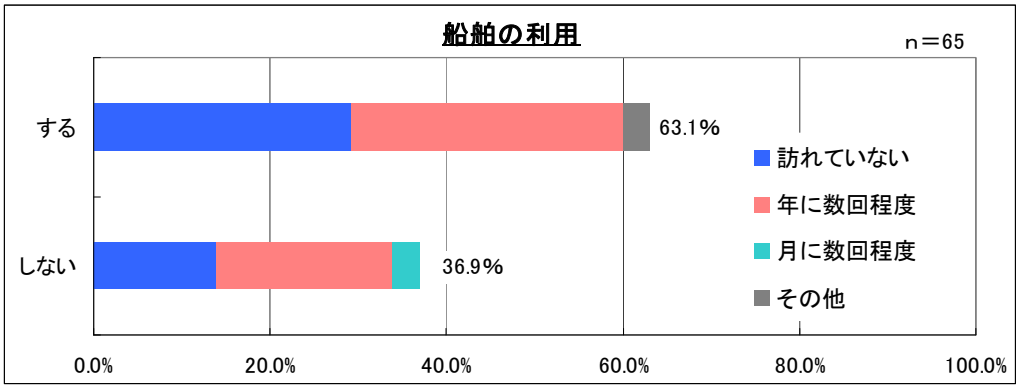
④どのような交通手段で島を訪れることが多いですか。（一つ回答）



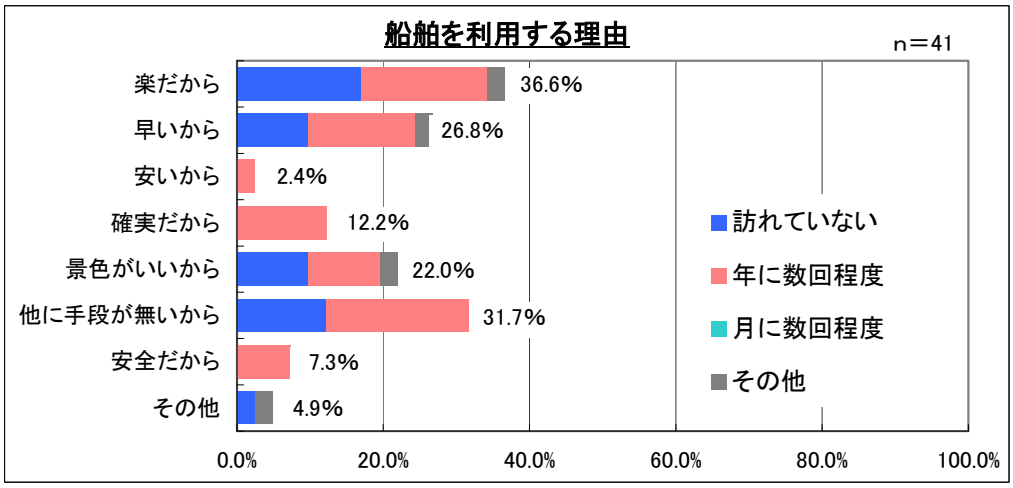
その他
・公共機関　　・友人の車

⑤その交通手段で島を訪れる際、船舶を利用しますか。（一つ回答）

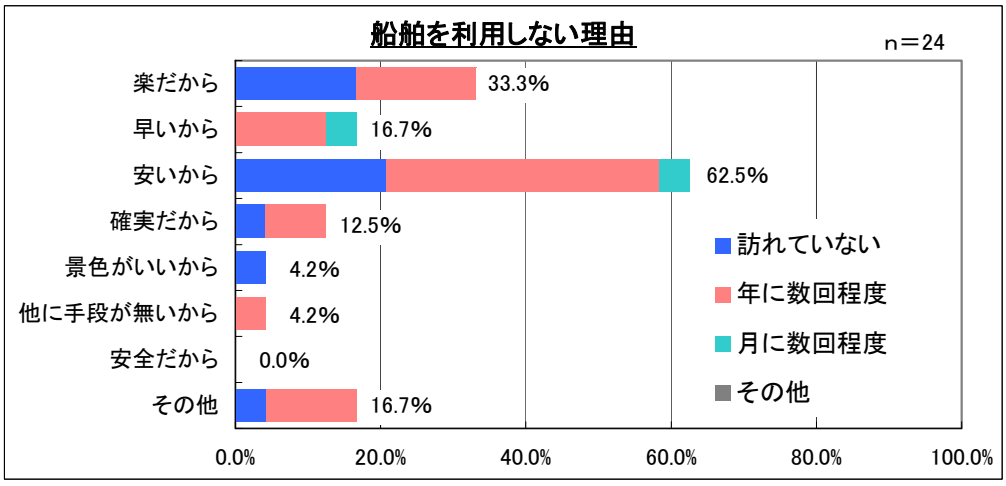
・船舶を利用する理由は、楽だから、早いから、景色がいいからが上位を占める
・一般、船舶を利用しない理由は、安いから、楽だからが上位を占める



⑥その理由はなぜですか。（複数回答可）



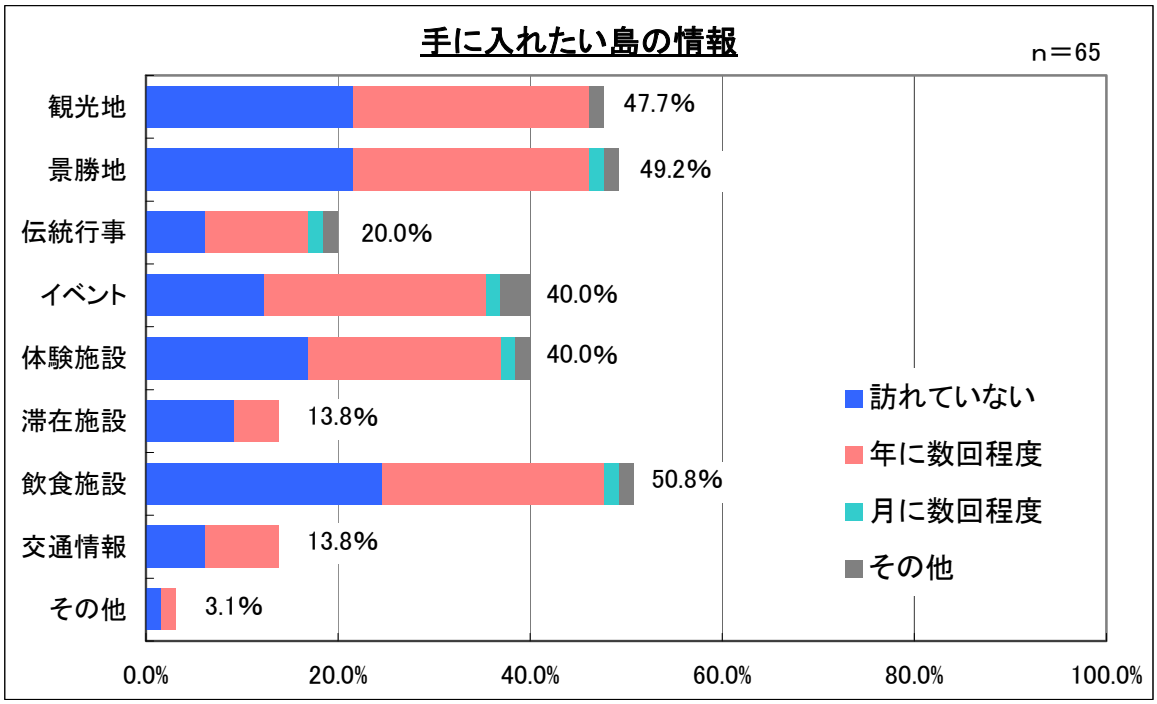
その他
・歩くのもよいかと　　・自分の時間で行動できるから



その他
・移動スペースが固定されるから　　・自分の時間で行動できるから

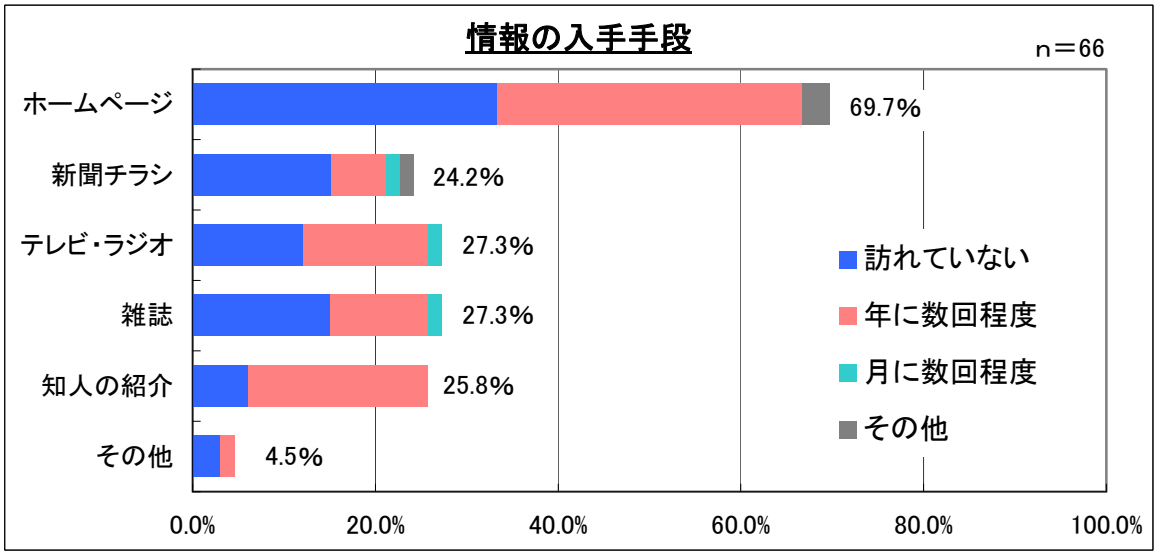
⑦どのような島の情報を手にいれたいですか。（複数回答可）

・手に入れたい情報は、飲食施設、景勝地、観光地が上位を占め、イベント、体験施設が続く
・情報の入手手段は、ホームページが上位を占める



その他
・特産品、名物料理　　・穴場的な飲食店情報

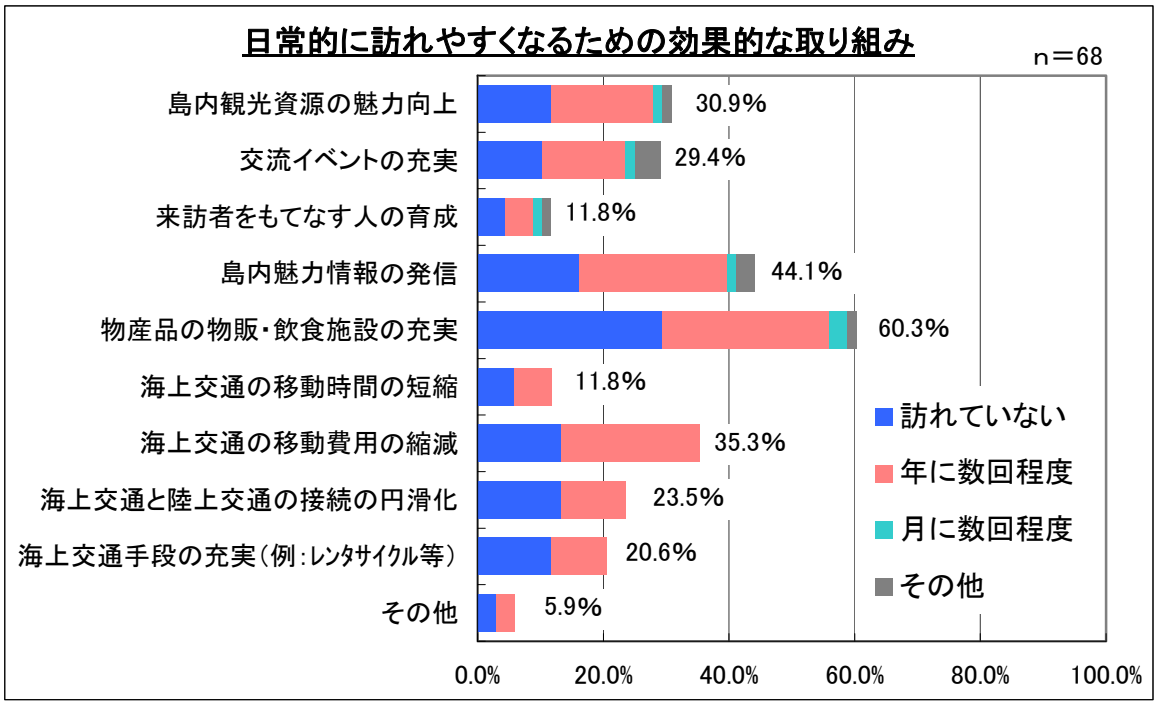
⑧島の情報はどのような手段で手に入れますか。



その他
・フリーペーパー　　・パンフレット

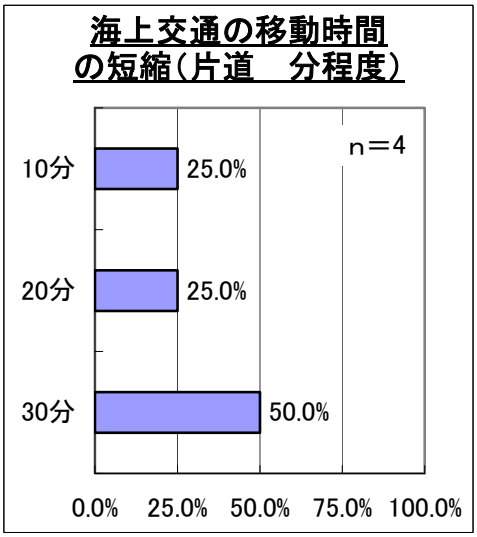
⑨あなたにとって、瀬戸内海の島々が日常的に訪れやすい場となるためには、
どのような取り組みが効果的だとお考えですか。（上位３つ）

・日常的に訪れるためには、物販飲食施設の充実が上位を占め、島内の魅力情報発信、海上交通の移動費用の縮減などが続く
・海上交通の移動は、片道で、30 分以内、1000 円以内が多くを占める



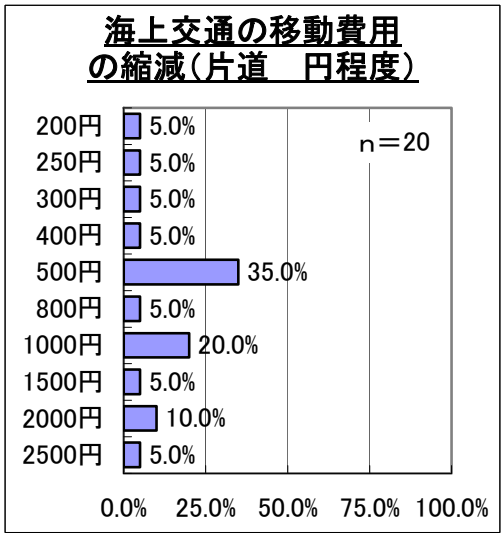
その他
・海をキレイにする　・サイクリングロードの整備、道路の整備　・モデルコースの提示

海上交通の移動時間の短縮（片道____分程度）



平均：片道25分程度

海上交通の移動費用の縮減（片道____円程度）



平均：片道873円程度

4-5　モニターアンケートの結果と考察

社会実験でのモニターアンケート調査の結果と考察は次のとおり。

表- 23　モニターアンケート調査の結果と考察

項目	モニターアンケート調査の結果と考察
◇島内の経由地	・利用料金を割引し、情報提供を行った島内施設の経由率は、主要な観光地と同様の高い経由率を示す結果となり、ニーズに沿った情報提供や割安インパクトのある海上交通利用と島内施設利用のセット料金設定といった取り組みの効果は高いと考える。
	・既存のパンフレットで紹介されている観光資源以外にも、ショッピングセンター・カフェ・路上からの風景などに立ち寄っていることから、島内の物販・飲食・道端の景色といった生活関連情報の発信が求められていると考える。
◇使用料金	・徒歩モニターの使用料金は比較的高額、自転車モニターは比較的低額、自家用車モニターは高額と低額に２極化する結果となり、10～20代が比較的多い自転車モニターは年齢構成の影響を受けたと考えられる一方で、自転車モニターや自家用車モニターは移動そのもの（サイクリングやドライブ）を楽しんだとも考えられることから、サイクリングロードなど島内の快適な移動環境の整備が求められていると考える。
◇滞在時間	・自転車モニターの滞在時間は比較的短く、徒歩モニターと自家用車モニターは比較的長く滞在した結果となり、徒歩モニターは島内の公共交通ダイヤに左右されたものと考えられることから、島外からの来訪者に対応した交通ダイヤの調整や、レンタカーやレンタサイクルといった島内周遊手段の確保が求められていると考える。
◇満足度	・地域イベント（朝市）に対する満足度は、『普通』が４割、『やや不満』が３割の結果となり、小規模なイベントだけでは高い満足度が得られないものと考えられることから、集客力の高いイベントの同時開催や島々のイベントカレンダーの開発・検証といった取り組みが求められていると考える。
	・カキ打ち体験（通常1000円）に対する満足度は、『やや満足』『やや不満』とも３割の結果となり、通常料金への抵抗はあったものの、島特有の体験ができることには高い満足度が得られるものと考えられることから、農家や漁家への民泊の促進といった取り組みの効果は高いと考える。
	・シーサイド温泉（通常600円）に対する満足度は、『満足』『普通』とも３割の結果となり、比較的高い満足度が得られたことから、島の景色を眺望できる温浴施設や休憩施設の充実といった取り組みの効果は高いと考える。
	・その他経由地の満足度は、『満足』が５割の結果となったが、自転車モニターは『満足』が３割と低いことから、サイクリングロードなど島内の快適な移動環境の整備が求められていると考える。

項目	モニターアンケート調査の結果と考察
◇満足度 （つづき）	・旅客ターミナルの満足度は、『普通』が５割の結果となり、通過点としての必要機能は認められているものと考えられるものの、旅客ターミナルを寄合所として開放するなど、みなとが地域の交流の場となっていくような取り組みや、船内・船上イベントの開催や帆船・客船・自衛艦の寄港といった島外からの来訪者にとって目的地となるような取り組みの余地はあるものと考える。
	・人とのふれあいの満足度は、『普通』が４割、『満足』が３割の結果となり、比較的高い満足度が得られたことから、島民にとっては日常的な挨拶や会話を島外からの来訪者へのおもてなしサービスとして認識し、島民による島内ガイドの育成や地元漁師や元船乗りによる船上ガイドの育成といった取り組みの効果は高いと考える。
	・海上移動の時間・費用の満足度は、『普通』が５割の結果となり、ある程度の時間を要することは認知されていると考えられるものの、船内における島内情報や船からの景観情報の発信といった、海上交通での移動中に価値を付加する取り組みの余地はあるものと考える。
	・陸上移動の時間・費用の満足度は、『普通』が４割、『やや不満』が２割の結果となり、海上交通と比較すると低いことから、サイクリングロードなど島内の快適な移動環境の整備には改善余地があるものと考える。
	・島内情報の収集の満足度は、『普通』『やや不満』とも４割と、いずれの交通手段においても高い満足度は得られなかったことから、来訪者の目的や移動手段にマッチした情報発信には改善余地があるものと考える。
	・総合的感想の満足度は、『やや満足』が４割、『満足』『普通』とも２割の結果となり、様々な点に満足・不満足を感じながらも、トータルとしては高い満足度が得られたことから、島外からの来訪者にとって瀬戸内海の島々で過ごす余暇の時間は快適なものであり、そのための取り組みが今後の活性化に繋がっていくと考える。
◇周遊中の サービス	・海上移動中で必要とするサービスは、『島内情報案内』が７割、『船上ガイド』が３割の結果となり、海上交通は単なる移動手段ではなく、その移動中にも価値ある時間を過ごしたい要求があるものと考えられることから、船内における島内情報や船からの景観情報の発信が求められていると考える。
	・旅客ターミナルで必要とするサービスは、『島内情報案内』が６割、『レンタサイクル』『物販・飲食施設』とも４割の結果となり、海上移動中と同様、旅客ターミナルにおける島内情報の発信が求められているとともに、レンタカーやレンタサイクルといった島内周遊手段の確保や、旅客ターミナルにおける地元特産品等の物販・飲食サービスの充実が求められていると考える。

項目	モニターアンケート調査の結果と考察
◇周遊中のサービス（つづき）	・島内移動中で必要とするサービスは、『休憩施設』が６割、『物販・飲食施設』が４割の結果となり、自家用車だけでなく、ハイキングやサイクリングといった多様な交通手段の来訪者に対して、休憩施設の充実や、地元特産品等の物販・飲食サービスの充実が求められていると考える。
	・島内経由地で必要とするサービスは、『物販・飲食施設』が５割、『島内情報案内』『休憩施設』が４割の結果となり、観光地などの経由地にも、地元特産品等の物販・飲食サービスの充実や、休憩施設の充実が求められているとともに、次の目的地に至るための資源情報の発信も求められていると考える。
◇島嶼部の余暇利用	・来島回数は、『年に数回程度』が５割、『訪れていない』が４割の結果となり、瀬戸内海の島々で余暇を過ごす習慣は未だ浸透していない状況であることから、海外や関東・関西方面といった広域からの集客だけでなく、最寄の都市在住者をターゲットとした取り組みの効果は高いと考える。
	・来島目的は、『観光』が５割の結果となり、最寄の都市在住者にとって、瀬戸内海の島々は、観光の対象として認知されていることから、多様な余暇の過ごし場所を提供していく取り組みの効果は高いと考える。
	・来島メンバーは、『家族と』が６割の結果となり、団塊夫婦や子育て家族といったファミリー層をターゲットとした取り組みの効果は高いと考える。
	・交通手段は、『自家用車』が８割の結果となり、自家用車での移動に特化していることから、自家用車での来訪に適した島内サービスを充実させるとともに、徒歩や自転車での来訪に適したサービスを提供していくことにより、新たな来訪者を開拓していくことができると考える。
	・海上交通利用は、『利用する』が６割、『利用しない』が４割、海上交通を利用する理由は、『楽だから』が４割、『手段がない』が３割、海上交通を利用しない理由は、『安いから』が４割、『楽だから』が３割の結果となり、自家用車での来訪にとって海上交通の料金抵抗が大きいことから、自家用車よりも低料金で輸送できる徒歩や自転車での来訪者を開拓する取り組みの効果は高いと考える。
	・手に入れたい島内情報は、『飲食施設』『景勝地』『観光地』が５割、『イベント』『体験施設』が４割の結果となり、島内の観光地やイベントだけでなく、景勝地、飲食施設、体験施設といった情報を島外に対して発信していくことが効果的であると考える。

項目	モニターアンケート調査の結果と考察
◇島嶼部の余暇利用（つづき）	・情報入手の手段は、『ホームページ』が７割の結果となり、情報提供者にとっては比較的簡易な手段での情報発信が有効であると考えられる一方で、膨大な情報量の中から選ばれるよう、『しまなみ海道』や『みなとオアシス』といったキーワードや、色調・音楽・キャラクター等の統一といった情報の発信に工夫が必要であると考える。
	・効果的な取り組みは、『物販・飲食施設の充実』が６割、『情報発信』が４割の結果となり、地元特産品等の物販・飲食サービスの充実や、景勝地、飲食施設、体験施設といった情報を島外に対して発信していくことが効果的であると考える。
	・希望する海上移動の時間・費用は、平均、『片道25分程度』『片道873円』の結果となり、これらが日常的な余暇の利用にとって抵抗を感じないものであると考えられることから、このようなニーズに適した日帰り・滞在クルーズコースの開発・検証や、島めぐりクルーズ船の係留施設等の整備といった取り組みが効果的であると考える。

4-6　関係者ヒアリング調査の結果と考察

社会実験に協力頂いた関係機関に対するヒアリング調査の結果と考察は、次のとおり。

表- 24　ヒアリング調査の結果と考察

ﾋｱﾘﾝｸﾞ先	ヒアリング調査の結果	考察
江田島市 商工観光課	・島内では、サイクリンロードやハイキングロードの整備に向けた機運が高まっている。自転車で実際に周遊したモニターからも、サイクリングロードの設置や、道を広げて欲しいという意見が多いため、国の機関として、計画に入れていただきたい。 ・情報発信に対する不満意見は予想外であり、自転車や徒歩で島内を巡る方をターゲットとした情報発信の必要性を感じた。 ・高速船やフェリー料金に対して補助制度を確立していただきたい。	◇島外からの来訪者拡大に向けた取り組みが検討されている中、1 市町だけではなく、国による計画への位置づけや法制度の確立が必要とされている。 ◇現状に満足することなく、ターゲットを絞った効果的な情報発信への改善が必要とされている。
江田島市 商工会	・飲食マップの必要性を感じた。ホームページを開設するため、反映したい。 ・集客目的の取り組みでも、まずは島内の人々に受け入れられる取り組みであることが重要である。 ・江田島は近くて遠い町になっている。広島・呉から高速艇で 25 分・10 分で行けるのに、1 時間位かかり、便数も 1 時間に 1 本のイメージがある。 ・特産物の認知度が低い。広島方面から江田島に来たことのある人が非常に少なく、特産品の生かき・黒鯛・なまこ・きゅうり・みかん・イチゴ・花卉などの産物があるイメージが低い。一度来ると、温暖で多く産物がある江田島が良く思えるはず。 ・宮島・広島から直接アクセスする船便を実験的に何十本か運行し検証してみてはどうか。 ・島内の観光表示や観光案内を充実させ、観光を意識したバス便や観光タクシーなどを運行する。 ・バスが 10 台位駐車できるような、特産品販売所と地元食材をふんだんに利用した料理が提供できるレストランが必要である。 ・坂の上の雲、旧海軍兵学校卒業者の山本五十六などをテーマとした観光開発・特産品開発・イベント等を検討すると良い。	◇島を身近に感じ、島の認知度を高めるためのイベントや物販･飲食サービスの提供が必要とされている。 ◇周囲の島々を巡る海上クルーズコースの発掘が必要とされている。

ﾋｱﾘﾝｸﾞ先	ヒアリング調査の結果	考察
東江漁協	・カキ体験に対する不満意見は、吉島カキ祭りとの同日開催のため、人員不足が原因であったと思う。島のキャパシティには限界がある。	◇ひとつの島だけでの取り組みには限界があり、多島が連携した取り組みが必要とされている。
ファーストビーチ（運航業者）	・定期航路の利用者は生活利用が大半を占め、そのキャパシティには限界がある。生活利用（定期券販売）の方には、料金設定等についてアンケート調査を実施することもあるが、島外の利用者からの意見は貴重。 ・クレアラインの無料化や第2音戸大橋の架橋の影響は全く分からない状況である。交通基本法（海上交通料金の低廉化の実現）に期待している。	◇海上交通を存続させ、発展させるような国による法制度の確立が必要とされている。
能美海上ロッジ	・船と市内バス含めたセット券、乗船券だけでもファミリー券、シルバー券、イベント券、シーズン券等があると良い ・現在高速船とシーサイド温泉とは昼食＋温泉＋往復高速船＝4,500円、温泉＋高速船＝2,200円、船を除いた昼食＋温泉＝3,000円を発売しており、20年度は上記船の2セットで販売数1,520人。利用者は年々減る傾向にある（原因はPR不足や料理内容か？） ・船とのセット券で便利なのは、海上ロッジの前に接岸してくれる点。行きは宇品発10:06ロッジ着10:38、帰りはロッジ発15:15又は16:29が便利。但し大潮等で干潮時水位低下のときは接岸できないため中町港まで送迎している。 ・以前はロッジとも宿泊パックを組んでいたが、利用者がなく早い段階でやめた。 ・現状は利用芳しくないので、部屋休憩や0泊2食（昼食＋夕食）等のセットプランを検討したい。 ・宮島との直通航路があると良い。 ・当館と中町港は歩くと15分。送迎は団体にとどめているが、高齢の方や1人でもお送りできると良い（費用面での制約あり）。	◇様々な交通手段を組み合わせたセット料金の設定や、ターゲットとする世代や季節を絞ったセット料金の設定が必要とされている。 ◇島々の魅力資源を直結する海上交通ネットワークの構築が必要されている。

ﾋｱﾘﾝｸﾞ先	ヒアリング調査の結果	考察
能美海上ロッジ（つづき）	・現在シーサイド温泉の利用者で江田島バスを帰りに利用する方には、100円割引券をフロントで手渡し、バス会社から月末に請求がくるようにしている。 ・楽しい名前や形の観光バスやバイオディーゼル燃料利用のバスの導入も有効だと思う（例えば裏磐梯ではボンネットバスを使用しシーズン運行している）。 ・小型で利用しやすいワンコインバス（島内１日500円乗車券）、1区間100円等ができると良い。 ・GWや夏休み等シーズンにはループバスを走らせ、観光以外に買い物や通院等に地元も率先して利用してもらえると良い。 ・集客面からすれば週末開催は当然であるが、平日開催も必要。2月はかきまつりが目白押しとなるが、ほぼ全部が週末開催。 ・カキについていえば、江田島は生産地として定着しているが、消費地として何時でも誰でもカキ料理が食べられる場所が欲しい。カキ打ち場に隣接し、見学、体験と併せたカキゾーン。カキの駅、カキの家、カキ博物館的役割。島全体で冬季はかきまつり、収穫期以外にもカキいかだや作業の洋上体験や見学、カキいかだオーナー募集、カキ料理コンテスト等。 ・夏がき「ひとつぶくん」（通年生産）のPRと消費拡大。ただし価格と生産量に制約はあるかも。 ・史跡、登山やハイキングのPR。 ・ボランティアガイド、シルバーガイドの養成。 ・港基点のレンタサイクルとサイクリングロードの整備。 ・潮干狩りの場所拡大（現在は１箇所くらい）。 ・利用者からエサと釣具が身近に手に入れられるようにして欲しいとの要望あり。 ・「サンビーチおきみ」に江田島カヌークラブが艇庫を移転。年齢に拘わらず安全、エコなマリーンスポーツとして活用したい。	◇来訪者にとって便利でインパクトのある移動手段を提供することが必要とされている。 ◇週末だけでなく、平日にもイベントを開催することが必要とされている。 ◇特産品を生産するだけでなく、特産品を消費できる島としての整備・ＰＲが必要とされている。 ◇みなとが起点となったハイキング・サイクリングコースの整備・ＰＲが必要とされている。 ◇ボランティアガイドやシルバーガイドの養成が必要とされている。 ◇従来の来訪者である潮干狩りや釣り客に対するサービスの充実も必要とされている。

ﾋｱﾘﾝｸﾞ先	ヒアリング調査の結果	考察
能美海上ロッジ（つづき）	・社会実験では、普段はさほど売れていない土産物を気に入って、大量に買って帰られたモニターがいた。島内の者では気付かないが、島外のお客様からみると魅力的なものが江田島にはあるのだと思う。 ・島嶼部では観光客を呼び込むためのハード整備がなくても、島の日常生活を観てもらうのも島外の方々にとっては観光になる。	◇島内の人にとっては何気ないものであっても、島外目線で魅力資源を掘り起こすことが必要とされている。

第 5 章　検討会の実施

島嶼部における新たな交流連携方策等を具体的に検討するため、瀬戸内海を中心に普及している『みなとオアシス』の設置者や運営者や、学識経験者、港湾管理者、海上交通事業者など、様々な立場からの意見を収集する検討会を 2 回実施した。

5-1　第 1 回検討会

5-1-1　第 1 回検討会の概要

（1）開催日時

平成 22 年 2 月 27 日(土)13:00～17:00

（2）開催場所

広島港宇品旅客ターミナル　2 階イベントホール（広島市南区宇品海岸）

（3）出席者

表- 25　第 1 回検討会　出席者一覧

みなとオアシス瀬戸田
鳥取・賀露みなとオアシス
潮風公園みなとオアシスゆう
みなとオアシス宇野
みなとオアシスただのうみ
みなとオアシス蒲刈
みなとオアシスたけはら
みなとオアシス尾道
みなとオアシス三田尻
みなとオアシス三原
国土技術政策総合研究所沿岸海洋研究部沿岸域システム研究室　研究官
比治山大学大学院現代文化研究科現代文化学部こども発達教育学科　准教授
江田島市商工会
広島安芸商工会

（４）第１回検討会の実施状況

5-1-2　第１回検討会の議事概要

第１回検討会における議事概要は、以下のとおりである。

（１）地域振興の取り組みについて

- 「みなとオアシス尾道」では、国の交付金等を使って、既存の県営上屋の商業施設・イベントホール等への利用転換を図り、既存の祭や物産展等とあわせた年１回程度の定期的なイベント開催等を考えている。また、「サイクリングポート尾道」ということで、しまなみ海道のサイクリングコースの本州側の起点としての整備及び情報発信も進めていく予定である。
- 「潮風公園みなとオアシスゆう」では、当初は地域活性化のために「経済効果」をあげる（売上重視）という考えが先行していたが、現在の方針としては、来訪者に潮風に触れてくつろぎながら、食事・買物を楽しんでいただける「オアシス」を目指しており、経済効果は第二義的な考えで運営している。口コミ等によりリピーターも増え、周防大島からの帰途に寄っていただいたりしている。5 月・10 月頃の気候のいい時期に来訪者が多く、お土産やレストランの売上は伸びるが、駐車場が満杯になって国道が渋滞するという問題点がある。
- 今は寂れているが、かつての賑わいを復興しようということも港まちづくりの意義だと思う。
- イベントは一過性のものなので、中核施設をイベントだけに使うのではなく、地域の人たちが日常的に教育や交流等の場として集まるような複合的な使い方を考えてみてはどうか。
- 「みなとオアシス」が長く存続するにも、地域の人からの支えがなければイベントでも何でも続かないので、地域の人たちが積極的に利用する『生活型』であることが大事である。まずは生産性がなくても、地域の人が来やすい環境を整えて、その人たちから『実はものすごい』地域資源、地域力、発想が出てくるのではないか。
- これまでのイベント開催は、行政機関（市・町）が主体の場合が多いが、物販とかのイベントは基本的にそのイベント単体で収益が上がるので、将来的には民間主体でやっていけると良いと思う。
- イベントを立ち上げるものの、イベントというのはやはり一過性のもので、いつも終わってからその効果をその後どう生かしていくのか、どうしたらいいのかということを反省している。

（２）人材育成について

- 「鳥取・賀露みなとオアシス」では、オアシスのメンバー（20 人程度）で全てをやることは難しいので、他の組織・団体の力を借りて、それに便乗して、なるべく費用がかからないような事業を中心に活動している。港の緑地の草刈り、体験教室等の実施も心がけている。今後の問題点としては、5 年ぐらい前からメンバーがほとんど固定化されて、新しい人材導入がほとんどないことで、メンバーの老齢化に不安を感じている。
- 活動を続けていくための人材確保のためには、いろんな団体に協力してもらうしかない。

活動を続けていると、他団体にも何となく知れ渡って、だんだんと仲良くなり、協力してくれるところが出てくるものである。

- 地元の市職員や知り合い・友人に協力を頼んだり、また、餅を丸める作業等お年寄りの方が得意な役割を地域の年配の方に頼むと快く引き受けてくれるので､そういう連携により、持ちつ持たれつで運営していくしかないと思う。
- 活動をしていく中で、若い年代の人達にも参加してもらおうとしているが、仕事が忙しい等の理由で、地域活動やまちおこしに興味を示す人が少ない。
- 後継者の育成も重要だが、高齢者の活用も必要である。

（３）広域連携について

- 自分のところだけで一生懸命頑張っても、頑張れる範囲は限られている。せっかく他の港町とのネットワーク（みなとオアシス・海の路ネットワーク等）を築いたのだから、それをどのように活用するかが大切である。「みなとオアシス」は全国協議会までつくったのだから、オアシス間の連携を考えていろいろやれば良いと思う。
- 対岸の今治市の大三島・伯方島等しまなみ海道に属する島々と連携し、瀬戸内海の中央地域が一体となった取り組みは非常にインパクトがあると思う。そのど真ん中にいる瀬戸田や忠海がまず呼びかけ人になって広く働きかけたら良い。
- 大久野島は国民休暇村があるため、テント・いす等のイベント用素材が整っており、船も持っている。これらのアイテムを活用して、瀬戸内海のど真ん中という地の利を生かしたことをぜひやりたい。
- ここ何年か港の連携（みなとオアシス）に関わってきて、これまでのやり方では、一つのイベントに各地の物産品を集めて集客力・PR 効果をあげるという以外に発展し得ないと思う。
- 例えば佐世保の朝市では、昼間は市営駐車場に使っている場所を、朝は朝市につかっている。1 カ所で複数の機能をそこに付加させて活用している。
- 多くのアイテムを持っている地域（尾道市等）が、それをどのように活用すれば効果的かを他の地域に紹介する等の連携をとっていけば、総合的に収益があがるようになるのではないか。
- 昨年 4 月に、行政の異なる船越町（広島市)、海田町、坂町の 3 町の商工会が合併して「広島安芸商工会」を発足した。行政が違うと難しい面もあるが、単独では人口が少なく、何をやるにしても限界があるため、3 町が連携してより魅力のあるイベントや事業を企画している。
- 商工会のネットワークで今検討しているのは、広島はカキを常時食べられるところがほとんどないので、大竹～呉・安芸津ぐらいまでの間に「カキ小屋」を設け、それをネットワーク化していこうではないか、大型バスなどが来て食べられるようなところをつくろうではないかというような話もしており、ぜひ「みなとオアシス」とも連携を図りたい。
- この度、坂町と呉市域の中で音戸・倉橋・江田島・安浦等と一緒に「カキまつり」を企画し、広告のチラシを打ったところ。例えば「坂へ行けなかったら○○にある」「次は○○にあるからそこへ行こう」ということになり、相乗効果があった。
- 中国地方の「みなとオアシス」の件数は、広島県が最も多く広域連携も良い状態になっているが、岡山、山口、島根、鳥取は 1 港ないし 2 港と少なく、特に山陰側は連携する相手がい

ない状態なので、国から各自治体に対してオアシス加入の働きかけをして欲しい。

- 広域連携することによるメリットが、もう少し明確になったら、各組織の皆さんが動きやすくなると思う。
- 瀬戸内海の島を研究フィールドとしていて常々思うことは、昨今あらゆるところで「観光」「観光」と言われているが、観光と地域が共存しないと本当の意味での地域振興にはならない。「観光公害」といって、一つの地域に一定の時間帯に来る観光客の規模や集中によって、地元の方たちの生活が脅かされたり、地域資源が損なわれたりとかいうようなことがある。例えば大崎下島の御手洗、鞆の浦の事例を見ても、一方的に観光客の数だけで評価して「よかった」という評価の仕方はちょっと違う。
- 観光客が「この島に来てよかった」と思うのは、迎えてくれる地元の方々が非常に親切であったり、手厚かったり、温かい交流がよかったという思い出によるものである。地元の方々の気持ちが、「観光客が来ると私たちの生活が危ない」ではなく、「観光客の方たち、いらっしゃい」というふうに、迎え入れるようなゆとりがないと、本当の意味での「住んでよし、訪れてよし」という地域にはなっていかない。

5-2　第２回検討会

5-2-1　第２回検討会の概要

（１）開催日時

平成 22 年 3 月 18 日(木)15:30～17:40

（２）開催場所

国土交通省中国地方整備局　港湾空港部会議室（広島市中区東白島町）

（３）出席者

表- 26　第 2 回検討会　出席者一覧

比治山大学大学院現代文化研究科現代文化学部こども発達教育学科　准教授
江田島市
広島県
ファーストビーチ（運航業者）

（４）第２回検討会の実施状況

5-2-2　第２回検討会の議事概要

第２回検討会における議事概要は、以下のとおりである。

（１）島嶼部における交流連携を行う上での現状把握及び課題整理について

- 観光客を呼び込もうとしたときに、今の観光スタイルというのは従来と比べて大きく変化してきている。美術館や施設をめぐる観光から、現在は体験型にシフトしてきている。特にキーワードとなるのは「温泉」「グルメ」「体験」である。
- 島には独特な食習慣に根づいたいろんな郷土料理があり、それが人を集める魅力となっているので、「食」をからめず人を呼び込むことは難しい。本調査でも「食」という切り口があっても良かったのではないか。
- 施設やイベントの数で区分けして、対策を考える課題を抽出するのは注意が必要である。例えば、本調査でグループ４に属している北木島・生名島は、実は島単独で島外から人を呼び込むための努力をしている。島の規模が小さいがゆえに、島民のモチベーションが高くてまとまりやすいという効果もある。

（２）社会実験について

- 社会実験での使用料金の結果は、移動形態の別による違いというよりは、モニターの年齢による影響が出ているのではないか（若い世代が多い自転車は使用料金が少ない）。また、年代別にアンケート結果の傾向を見るのもおもしろい。
- モニターには事前に島の情報を配布しているにも関わらず、アンケート結果では「情報案内が少ない」という回答が多い。その原因は、道中の情報案内（看板、標識等）の不足によるものと思われる。
- 「経由地」の回答結果で、移動形態による違いが出ている要因は、徒歩・自転車モニターの移動時間・距離の制約によるものと思われる。例えば「海辺の新鮮市場」は人気施設で早い時間に売り切れるため、徒歩モニターが術科学校見学後、バスで移動すると間に合わない。車モニターは時間的な制約がないので、店の事情を知っている方は先に移動して食事をしてから術科学校に戻った方もいたので、移動性の面では車が一番有利だったといえる。
- 島を訪れる際に船舶を利用しない理由として「安いから」が最も多いのは、他の移動手段（自動車）の方が安いからだと思われる（フェリーの車載料金よりも、自動車の燃料・有料道路通行料の方が安い）。
- アンケート結果の「経由地」で人気が高い場所は、地元（江田島市）の者から見ても主要な施設で納得できるが、意外な場所も多い（お好み焼き屋、中華料理店、ショッピングセンター等）。最近は事前にインターネットで調べて訪れる人が多いからではないかと思う。
- アンケート結果で車モニターに人気が高かった「しびれ峠」は、観光マップに名称は表記されていないが、春は桜で有名な場所である。

（３）海上交通の利用について

- 島嶼部のフェリー・旅客船は、ほぼ９割以上が島民の生活利用（通勤・通学）で、観光利

用はごくわずかである。島の人口は年々減少しているため、何とか観光利用を増やしたいが、江田島の場合は橋がつながっているので、どうしても車利用が多くなる。特に江田島は島が広いので、次の目的地までの移動を考えると車が便利である。

- 船の待ち時間や費用面でも車が有利。今後の有料道路の無料化の影響は、はかりしれないものがある。
- 島嶼部への来訪者のターゲットを絞ったら、船舶利用者は増えるのではないか。例えば江田島の切串港へ潮干狩りに行く際、帰りは疲れて運転をしたくないので宇品港に駐車してフェリーで渡っている。目的がはっきりしている場合は、船の方が得な場合もある。
- 車で移動する場合は、島民とふれあう機会は少なくなり、楽しみが半減すると思う。
- 定期航路の利用者は伸びないものの、瀬戸内海汽船では貸切船等のクルーズ事業をやっているが、離島クルーズでグルメ・温泉・体験をテーマにすると非常に人が集まる。例えば今からの時季はお花見をテーマにすると広島･愛媛あたりの島へのクルーズの人気が高い。江田島も花見・潮干狩り等をもっと宣伝すれば来訪者が増えるのではないか。
- 自動車利用から船舶利用へのモーダルシフトはエコにつながるということをアピールするのも効果的かもしれない。
- 自動車に乗りなれている人にとっては、船に乗ることは非日常でありイベント性がある。例えば江田島にわたるには、高速船よりフェリーの方が時間はかかるが楽しめる。鹿児島のフェリーでは船上で BBQ ができるものもあり、単なる移動手段ではなく付加価値をつけるのも効果的である。
- アンケート結果では「船上ガイド」の希望が多い。船上ガイドも島の人々との交流になるし、それが認知されると車より船舶利用が増えるかもしれない。
- 運航業者として利用者に対して料金設定についてのアンケート調査を行ったことがあるが、利用者（主に島民）からは「船賃が高い」という意見が多く、島民がそう思うということは島外の人も当然同じだと思う。「江田島市公共交通協議会」でも地元自治会等から同様の意見が出ており、事業者として運航していくための最低の料金設定とのギャップが大きい。料金的に船はバス等と比べると高いというイメージがあり、今後道路が無料化されると、航路が維持できずやめざるを得ないということになりかねず、今はその瀬戸際である。
- 江田島市商工会のヒアリング調査で、宮島・広島から江田島への直通便を実験的に運航してみてはという意見があったが、ある程度の利用者数の見通しがたたなければ民間事業者としては航路を新たに設定するのは難しい。既存の航路でも成り立っていない航路がある。

（４）情報発信について

- 今回、社会実験モニターに配布している観光情報（マップ等）には、特定の施設でしか入手できないものもある。そういう資料を港や主要な施設（術科学校）等でも配布すれば、徒歩の来訪者には便利である。
- 今回の社会実験アンケートの結果をみて、これからはインターネットを使った情報発信の仕方を見直していく必要があると感じた。例えばホームページの作り方として、「カキ（牡蠣）」だけで江田島市にヒットするなど。

- 「江田島」「宮島」といった市町ではなく、「カキまつり」「花火」等のテーマごとの言葉の検索にヒットするようにすると効果的かもしれない。
- 江田島市のホームページがあっても、まずそこに行こうというきっかけがないとなかなか見てもらえないというジレンマがある。もし広島市のホームページに江田島の観光情報が載っていれば、広島市内でも見る人が増えて認知度があがるのではないか。
- 県・市町・観光連盟等のホームページは、ある程度相互にリンク設定されているが、トップページで「観光情報」の場所がわかりにくいので、実際には Yahhoo や Google で検索する人が多いのではないか。
- 旅行へ行くときには話題性のあるお店で食事をしたいと思って検索をする場合が多いと思うが、行政のホームページには飲食店（民間）の情報は載っていない。
- 「しまなみ海道」のホームページがあり、島をまたいだ、もっと言えば中国・四国をまたいだものになっている。おそらく個々の島の名称よりも「しまなみ」というキーワードで検索される機会が多いのではないか。検索にかかりやすいキーワードの設定が重要である。

（５）観光振興について

- 広島県では新知事になってから「瀬戸内海の道一兆円構想」を掲げており、来年度調査費 5,000 万円程度をかけて、地域調査を行う予定である。今後、県の観光振興の取り組みとも情報交換をさせていただきたい。
- 「瀬戸内から学ぶ」という授業で、学生に「瀬戸内海の島々にいったことかあるか？」とたずねたたら、ほぼ全員が「行ったことがない」と答えた。「なぜ行かないのか？」とたずねると「島へ何しに行くの？」「島に何があるの？」と逆に問われ、瀬戸内沿岸で育っていながら、島に何があって何が体験できるかが認知されていないことがわかった。
- 広島県民でありながら、小・中学校の体験学習等で、瀬戸内海や島を舞台にした学習がほとんど行われておらず、瀬戸内海の島々にどんな歴史的な宝が残っているかというような学びもなく育っている。
- 江田島市では体験ものに力をいれていきたいが、基本的に予約制になるので、個人ではなく団体あるいはグループが対象になる。団体の体験ツアーを組むとかなり人が来ているので、個人客や小グループの飛び込みをどうやって受け入れるかが課題である。特にカキの体験は、業者のロスがでてもいけないし、食中毒の心配もあるので、どうしても予約制にせざるをえない。
- カキは食中毒のリスクが高く、飲食店が業者から購入して残った場合、生けすに置いて保存できるものではなく二、三日したら使えなくなるため、飛び込みでカキ料理を食べさせる店がない。江田島市の食べ物はなんと言ってもカキというイメージがあるので、これについては課題だと思っている。
- アンケートの自由意見として、通りすがりに島内の小中学生が挨拶してくれるという意見が多くみられた。島内の施設めぐりもさることながら、都市部では味わえない人とのかかわりとか、声かけとか、そういったものが島観光の真髄である。
- 施設をつくったり、観光客に迎合するような対策よりは、ありのままの日常的な姿をいかに上手に見せるかということが工夫のしどころだろう。

- 市町村合併がすすんできたが、合併後も町ごとで観光に対するモチベーションに非常に温度差があり、市全体で観光客を迎え入れようとするところまでには至っていない所が多い。江田島市は江能 4 町が合併したが、地元は「江田島町は旧海軍兵学校があるから観光客は来るが、ほかのところに観光するようなところはない」という認識で、その他の町をあえて自分たちで盛り上げようという動きは少ない。市としても全体をまとめて特産品の PR 等で島外へ出向くことはあるが、町ごとの特長までは意識していない。
- 江田島周辺の島々では、あいかわらず市・町単位での縦割りで、島同士の横のつながりはない。同じ瀬戸内海の島という仲間意識や親近感というよりは、ライバル意識がある。瀬戸内海で島同士の連携ができているのは「しまなみ」だけだろう。
- 今は島が単独で魅力を発信している状態だが、「島々」というまとまりで情報発信すれば、島外の人達はより魅力を感じられると思うので、島同士の連携や情報交換は効果的だと思う。
- 江田島市だけでは情報発信等がうまくできていないが、今回の社会実験（国の取り組み）のアンケート結果が大変参考になったので、今後も国や県からの島嶼部への呼びかけ（連携）があると良い。

第 6 章　島嶼部における新たな交流連携による方策の提案

以上の結果を踏まえて、瀬戸内海の島嶼部における海上交通を活用した新たな交流連携の推進方策をとりまとめる。

◇瀬戸内海における海上交通の利用者は、通勤や通学など、生活利用がその大半を占め、寄港地や寄港ダイヤといった海上交通のサービスも、そのような生活利用にマッチングしたものが提供されているものと考えられる。

◇今後、島嶼部において少子化・高齢化・過疎化等の進行が見込まれる中、新たなターゲットとなるのは島外からの来訪者であり、その「来訪者にとって利用しやすく、価値のあるサービスを提供」していく視点が重要であると考える。

◇また、瀬戸内海の島々における交流・連携機能施設や交流・連携イベントは、島外からの来訪者を集客するために発掘・発信されているものの、リピーターを獲得し得る企画力・集客力を発揮できているものはごく一部であり、また、人材の継承など、島内の活力を継続していくことも困難な状況になりつつあると考えられる。

◇今後、瀬戸内海の島嶼部における交流を促進していくためには、「不特定多数の来訪者を集客する取り組み」から「より具体的な来訪者が滞在する取り組み」へと、また、「単独の島による取り組み」から「多島による一体的な取り組み」へと、発展していく視点が重要であると考える。

◇本調査では、瀬戸内海の島嶼部における交流連携を推進するために必要不可欠な『交流・連携施設』『交流・連携イベント』と『アクセス条件』に係る現状把握・課題整理・社会実験や検討会等の結果を踏まえ、『活力ある島々の魅力つらなる地域底力の形成』を目指す方策について提案する。

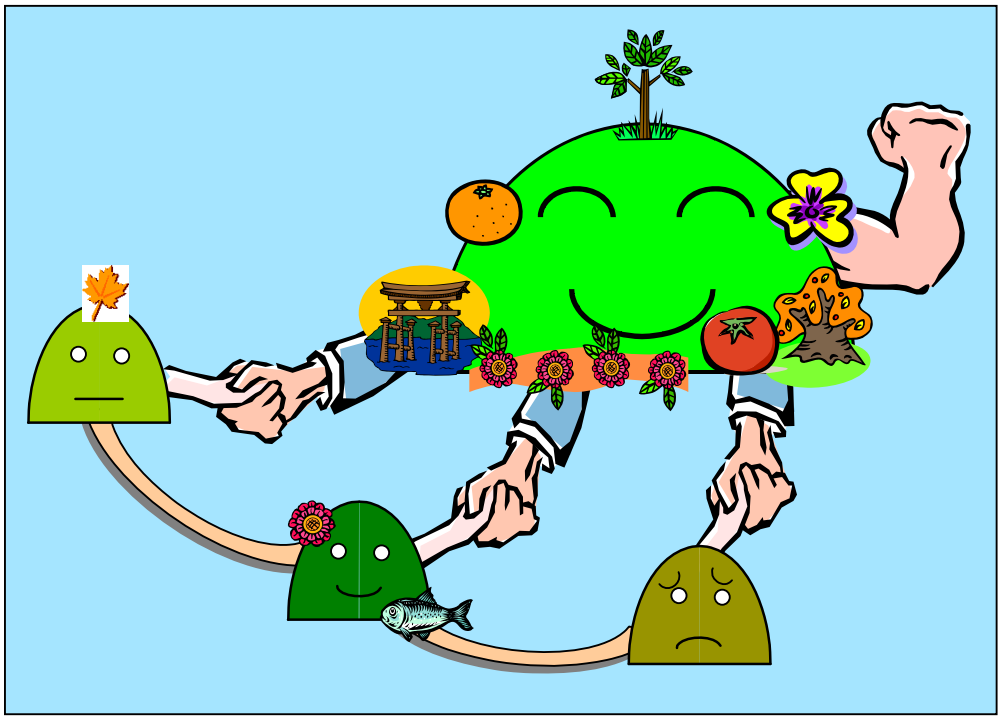


図- 36　瀬戸内海の島嶼部における交流・連携の推進イメージ

活力ある島々の魅力つらなる島嶼部の地域底力の形成

活力の向上

活力ある地域づくり

◆島々が連携した情報発信の充実
◇島内の魅力資源だけでなく、次の島に至るための魅力資源の情報を発信
◇ターゲットを絞った効果的な情報発信への改善

◆島々の融合イメージづくり
◇周囲の島々を融合させるテーマやキーワードの創造・情報の発信
◇島づくりにおける色調・音楽・キャラクター等の統一

◆島の魅力向上（イベント）
◇島を身近に感じ、島の認知度を高めていくためのイベントの開催
◇休日だけでなく、平日にもイベントを開催
◇小・中学校での瀬戸内海・島に関する体験学習の実施

◆効果的な情報発信の充実
◇旅客ターミナルにおける島内情報の発信
◇船内における島内情報や船からの景観情報の発信
◇グルメ・温泉・体験など体験型観光に沿った情報発信への改善
◇観光だけでなく、物販・飲食・道端の景色といった生活関連情報の発信
◇特産品を生産するだけでなく、特産品を消費できる飲食施設の整備・情報の発信

◆地域力アップ（地域資源の魅力向上）
◇潮干狩りや釣り客といった従来の来訪者へのサービスの充実
◇島民による島内ガイドの育成
◇地元漁師や元船乗りによる船上ガイドの育成

地域底力の創造

◆地域力アップ（島民意識の改革）
◇来訪者をもてなす活動への島民参加
◇島外目線での魅力資源の掘り起こし
◇旅客ターミナルを寄合所として開放等地域力の創造

地域底力の形成

◆国の施策との連携
◇航路を維持するための国による計画への位置づけや法制度の確立
◇みなとを島内外の人々の通過点から目的地へとグレードアップするために、船内・船上イベントの開催や帆船・客船・自衛艦の寄港誘致及び係留施設等の整備
◇車から船へのモーダルシフト、農家や漁家への民泊など、国と連携した先駆的な実証実験の推進

◆交通手段の工夫・改善
◇島外からの来訪者に対応した交通ダイヤの調整
◇ターゲットとする世代や季節を絞った、便利でインパクトのある移動手段の提供
◇来島のきっかけづくりに向けて、海上交通利用と島内施設利用のセット料金の設定
◇海上交通利用の付加価値（船内イベント）の提供

◆島の魅力向上（施設）
◇旅客ターミナルに新たな価値を付加するための地元特産品等の物販・飲食サービスの充実
◇島の景色を眺望できる温浴施設や休憩施設の充実
◇特産品を消費できる飲食施設の整備

◆島々のネットワーク形成
◇周囲の島々を巡り、島々の魅力資源を直接ネットワークする海上クルーズコースやイベントカレンダーの開発・検証
◇日帰り・滞在など、多様な来訪者のニーズに応える海上クルーズコースの開発・検証
◇集客力・企画力の高い島と連携したイベントの同時開催
◇来訪者の受け皿づくりとして、島めぐりクルーズ船の係留施設等の整備

◆施設整備の充実
◇みなとを起点としたハイキング・サイクリングコースの整備・情報の発信
◇旅客ターミナル周辺のレンタカーやレンタサイクルの設置
◇案内看板や休憩施設など島内の快適な移動環境の整備

魅力ある地域づくり

魅力の向上

図- 37　瀬戸内海の島嶼部における交流・連携の推進方策